

秘 書 課

○ 表彰関係

市の発展又は公共の福祉の増進に貢献した方、広く市民の模範となる行為をした方を伊勢市表彰条例に基づき第20回の表彰を次のとおり行った。

1 伊勢市民功労賞

- ・ 多年監査委員として各種監査等の適正かつ円滑な執行に貢献された（1名）
- ・ 多年総連合自治会役員として地域社会の発展のために尽力された（2名）
- ・ 多年自治会長として地域社会の発展のために尽力された（1名）
- ・ 多年まちづくり協議会会長として地域社会の発展のために尽力された（3名）
- ・ 多年学校歯科医として児童生徒の口腔衛生管理に尽力された（1名）
- ・ 多年民生委員・児童委員として社会福祉の向上に寄与された（10名）
- ・ 多年保護司として更生保護活動の向上に寄与された（2名）
- ・ 多年消防団活動に献身奉仕され郷土防災と消防行政推進に寄与された（9名）
- ・ 多年介護保険事業に携わり社会福祉の向上に寄与された（6名）
- ・ 多年都市計画審議会委員として都市計画行政の推進に寄与された（2名）
- ・ 地域社会の発展に思いをいたされ公益のために多額の御寄附をされた（1名、4団体）
- ・ 地域社会の発展に思いをいたされ子どもの福祉向上のために多額の御寄附をされた（1名、1団体）
- ・ 地域社会の発展に思いをいたされ福祉・医療の充実のために多額の御寄附をされた（1団体）
- ・ 地域社会の発展に思いをいたされ地域防火防災活動の推進のために多額の御寄附をされた（1団体）
- ・ 地域社会の発展に思いをいたされ教育活動の充実のために多額の御寄附をされた（1団体）
- ・ 地域社会の発展に思いをいたされ災害・緊急時に市民の命を守るために多額の御寄附をされた（1団体）
- ・ 地域社会の発展に思いをいたされ高齢者福祉・子育て環境の充実のために多額の御寄附をされた（1団体）
- ・ 地域社会の発展に思いをいたされ障がい者の福祉向上のために多額の御寄附をされた（1団体）

2 伊勢市民文化賞

- ・ 第8回ルーマニア国際ジュニア音楽コンクールで優秀な成績を収められた（1名）
- ・ インペリアル クラシカル バレエ アワード 2025 で優秀な成績を収められた（1名）
- ・ 第112回日本水彩展で優秀な成績を収められた（1名）
- ・ モナコ国際映画祭 2024 で優秀な成績を収められた（1団体）
- ・ 第48回全日本アンサンブルコンテストで優秀な成績を収められた（1団体）

3 伊勢市民スポーツ賞

- ・第18回UI8/第55回UI6陸上競技大会で優秀な成績を収められた（2名）
- ・船越義珍杯第16回熟練者世界空手道選手権大会で優秀な成績を収められた（1名）
- ・2024第94回全日本ボクシング選手権大会で優秀な成績を収められた（1名）
- ・2025JDC全日本10ダンス選手権で優秀な成績を収められた（1名）
- ・2025ハンザクラスワールド&インターナショナルチャンピオンシップで優秀な成績を収められた（1名）
- ・第6回UI8アジア陸上競技選手権で優秀な成績を収められた（1名）
- ・カナダオープン2025で優秀な成績を収められた（1名）
- ・令和7年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会で優秀な成績を収められた（1名）

4 表彰式

- ・日時 令和7年11月1日（土） 10時40分～（伊勢市制施行20周年記念式典内で開催）
- ・会場 伊勢市生涯学習センターいせトピア 多目的ホール

○ 栄典に係る推薦事務

憲法第7条第7号に基づく栄典の授与に関する推薦事務を行い、次のとおり決定を受けた。

- ・旭日単光章 元町議会議員（地方自治功労）

○ 市長会関係

全国、東海及び三重県の各市間の連絡協調を図り、市政の円滑な運営と進展に資し、地方自治の伸展と興隆繁栄に寄与するため、全国市長会、東海市長会及び三重県市長会に加盟している。

令和7年度については、全国市長会議通常総会、東海市長会第140回及び第141回通常総会へ出席した。また、三重県市長会は定例会議へ出席した。

1 全国市長会

開催年月日	会 議 名(主な議題)	開催地
7. 6. 4	第95回全国市長会議通常総会 ① 令和5年度全国市長会決算報告について ② 令和7年度全国市長会予算承認について ③ 各支部提出議案審議経過及び結果報告について ④ 決議案審議 ⑤ 役員改選	東京都 千代田区

2 東海市長会

開催年月日	会 議 名(主な議題)	開催地
7. 5. 21	第140回東海市長会通常総会 ① 令和6年度東海市長会会務報告について ② 令和6年度東海市長会歳入歳出決算の認定について ③ 令和7年度東海市長会歳入歳出予算について ④ 提出議案の審議 ⑤ 決議案の審議 ⑥ 役員改選	静岡県 磐田市
7. 10. 24	第141回東海市長会通常総会 ① 提出議案の審議 ② 決議案の審議	岐阜県 高山市

3 三重県市長会

開催年月日	会 議 名(主な議題)	開催地
7. 5. 8	三重県市長会5月定例会議 ① 令和7年度三重県市長会役員等の選任について ② 三重県国民健康保険団体連合会役員の推薦について ③ 三重県市町村振興協会評議員候補者の推薦について ④ 三重県市町村職員共済組合会議員補欠選挙について ⑤ 三重県市長会事務処理に係る規程の整備について ⑥ 第143回東海市長会通常総会の開催市受入意向照会について ⑦ 各団体からの市長会への要望等について (自治労三重県本部からの要請について) ⑧ 弁護士会館建設助成金の取扱いについて ⑨ 会務報告について	津 市
7. 7. 31	三重県市長会7月定例会議 ① 令和6年度三重県市長会歳入歳出決算について ② 令和6年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出決算について ③ 三重県市町総合事務組合議会議員の選出について ④ 軽自動車税申告受付等に係る業務委託単価について ⑤ 第143回東海市長会通常総会等の開催市について ⑥ 令和8年度に向けた三重県への要望について ⑦ 第141回東海市長会通常総会要望議案等について ⑧ 各団体からの市長会への要望等について (ジェンダー平等社会実現を求める要請書について、平和行政推進に関する要請書について、原爆死没者慰霊並びに平和祈念の黙とうの周知方について) ⑨ 市長会の会務報告について	津 市

7. 10. 20	三重県市長会10月定例会議 ① 令和8年度三重県市長会歳入歳出予算について ② 令和8年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出予算について ③ 指定金融機関派出業務に関する要望について ④ 乳児健診等の単価と1か月児健康診査の集合契約について ⑤ 各団体からの市長会への要望等について (自治労三重県本部からの要請について) ⑥ 市長会の会務報告について	津 市
8. 2. 3	三重県市長会 2 月定例会議 ① 令和8年度三重県市長会役員等の選任について ② 三重地方税管理回収機構副管理者及び議会議員等の推薦について ③ 乳児一般健康診査及び妊婦健康診査の単価について ④ 第142回東海市長会提出議案の取扱いについて ⑤ 市長会の会務報告について ⑥ 今後の市長会日程について	四日市市

デ ジ タ ル 政 策 課

○ 市民サービスの向上 (款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 6. デジタル化推進費

1 行政手続きのオンライン化の推進

市民サービス向上のため、行政手続きのオンライン化に取り組み、令和 8 年 3 月 31 日現在で、142 種類の手続きをオンライン化した。

(1) LoGo フォームサービス利用

- ・利用期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日（長期継続契約）
- ・契約金額：3,139,224 円（令和 7 年度分）

2 LINE を活用した行政サービスの推進

伊勢市 LINE 公式アカウントを活用し、市民サービスの向上に取り組んだ。

(1) 伊勢市 LINE 公式アカウント連携サービス利用

- ・利用期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日（長期継続契約）
- ・契約金額：2,534,400 円（令和 7 年度分）
- ・登録者数：37,257 人（令和 8 年 3 月 31 日現在）

(2) 伊勢市 LINE 公式アカウント連携サービス利用更新業務委託

- ・契約期間：令和 7 年 10 月 29 日～令和 11 年 3 月 31 日（長期継続契約）
- ・利用期間：令和 8 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日
- ・契約金額：7,722,000 円（令和 7 年度支出額は 0 円）

3 公開型 GIS 等の導入、運用

本市が保有する地図データをタイムリーに公開し、住民や事業者がいつでも、どこでも、だれでも情報取得できる環境を整え、住民負担の軽減とサービスの向上を目指して、公開型 GIS の導入と共通基盤となる市内 GIS の更新を行い、令和 8 年 2 月 1 日から運用を開始した。従前より市ホームページで公開していた都市計画情報、ハザードマップなどに加えて、埋蔵文化財包蔵地の情報や下水道台帳図などを新たに公開した。

(1) 市内 WebGIS データ出力業務委託

- ・契約期間：令和 7 年 5 月 16 日～令和 7 年 11 月 28 日
- ・契約金額：1,793,000 円

(2) 伊勢市公開型 GIS 等導入業務委託

- ・契約期間：令和 7 年 8 月 22 日～令和 8 年 1 月 31 日
- ・契約金額：15,697,000 円

(3) 伊勢市公開型 GIS 等サービス利用

- ・契約期間：令和 8 年 2 月 1 日～令和 13 年 1 月 31 日（長期継続契約）
- ・契約金額：237,589 円（令和 7 年度分）

○ 組織運営の効率化 （款） 2. 総務費（項） 1. 総務管理費（目） 6. デジタル化推進費

1 RPA の活用

RPA（定型的なパソコン操作をソフトウェアで自動化する仕組み）を活用し、定型的な業務の効率化に取り組んだ。

（1）RPA ソフトウェアライセンス購入

- ・利用期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日
- ・契約金額：765,600 円
- ・活用実績：7 課 42 業務【削減時間数：3,527.0 時間】

2 AI-OCR の活用

AI-OCR（高精度に帳票を読み取りデータ化する技術）を活用し、大量の紙データの電子化業務の効率化に取り組んだ。

（1）LGWAN-ASP 版 AI-OCR サービス利用

- ・利用期間①：令和6年6月1日～令和7年5月31日（長期継続契約）
- ・支出金額①：210,100 円（単価契約・令和7年度分）
- ・利用期間②：令和7年6月1日～令和8年5月31日（長期継続契約）
- ・支出金額②：1,100,000 円（単価契約・令和7年度分）
- ・活用実績：10 課 18 帳票【削減時間数：715.7 時間】

3 チャットツールの活用

チャットツールを導入し、庁内や自治体間での情報共有の効率化を進めている。また、チャットツール上で利用できる生成 AI 機能による職員の業務効率化を図っている。

（1）LoGo チャットサービス利用・LoGo AI アシスタントサービス利用

- ・利用期間（チャットサービス）：令和7年4月1日～令和10年3月31日（長期継続契約）
- ・契約金額：4,886,376 円（令和7年度分）
- ・利用期間（AI アシスタントサービス）：令和7年4月1日～令和8年3月31日
- ・契約金額：924,000 円
- ・利用内容：チャット 1,364 ユーザ、AI アシスタント 500 万文字/月（GPT-4o）

4 議事録作成支援サービスの活用

AI を利用し、各種会議の文字起こしができ、生成 AI で概要作成などができる議事録作成支援サービスを活用し、庁内の業務の効率化を進めた。

（1）議事録作成支援サービス利用

- ・利用期間：令和7年6月1日～令和8年3月31日
- ・契約金額：793,650 円
- ・契約内容：AI 文字起こし 100 万時間/月、生成 AI 150 万時空トークン/月
- ・活用実績：31 課 134 業務【削減時間数：510.7 時間】

(2) 専用レコーダー、マイク、ケーブル等購入

① AI 議事録作成支援サービス【ログミーツ】専用モバイルレコーダー及びマイク等 19 台

・ 契約期間：令和 7 年 5 月 9 日～令和 7 年 5 月 30 日

・ 契約金額：1,680,976 円

② 専用マイク・Y 字分岐ケーブル等追加購入

・ 購入金額：79,200 円

5 オフィスソフト統合型生成 AI の試験導入

主要オフィスソフトと高度に統合されている Microsoft 365 Copilot と Google Gemini を試験的に導入し、庁内業務の効率化に活用できるかを検証した。

(1) Microsoft 365 + Copilot 7 ライセンス / Google Workspace 7 ライセンス調達

・ 利用期間：令和 7 年 10 月 1 日～令和 8 年 9 月 30 日

・ 契約金額：916,300 円

(2) 事務用ノートパソコン 13 台

・ 契約期間：令和 7 年 8 月 6 日～令和 7 年 9 月 15 日

・ 契約金額：1,558,700 円

(3) Microsoft 365 Copilot / Google Gemini 活用等研修業務委託

・ 契約期間：令和 7 年 9 月 29 日～令和 8 年 3 月 31 日

・ 契約金額：1,669,800 円

・ 研修実施回数：8 回（令和 7 年 10 月～令和 8 年 2 月）

・ 延べ参加人数：53 人

○ 地域課題の解決 （款）2. 総務費（項）1. 総務管理費（目）6. デジタル化推進費

1 スマートシティ伊勢推進協議会の運営

デジタル技術を活用して、地域課題の解決に取り組む「スマートシティ伊勢推進協議会」において、各分野の関連団体同士の情報共有を促進することを目的として、令和 7 年 8 月に各部会を、9 月には各団体の事務局長をメンバーとする担当者会議を開催し、情報交換を行った。

2 デジタルデバイド対策

デジタルデバイド解消のため、高齢者等を対象としたスマートフォン教室の開催及び相談窓口の設置を行った。

(1) スマートフォン教室の開催及びスマートフォン相談窓口の設置

・ 契約期間：令和 7 年 5 月 28 日～令和 8 年 3 月 15 日

・ 契約金額：2,517,900 円

・ 開催実績（スマートフォン教室）

期間：令和 7 年 8 月～令和 8 年 1 月 日数：13 日（全 26 回） 参加者数：146 人

・ 開催実績（スマートフォン相談窓口）

期間：令和7年9月～令和8年1月 日数：8日（全48枠） 参加者数：41人

3 オープンデータの推進

行政の透明性・信頼性の向上等を目的として、市が保有するデータを二次利用可能なルールのもとで公開し、データの充実と利活用の推進に取り組んだ。

（1）伊勢市オープンデータライブラリ

登録データ件数 46項目 2,032件（令和8年3月31日現在）

（2）宇治山田商業高校情報処理科との連携

宇治山田商業高校情報処理科の生徒が、自分たちで収集した情報とオープンデータを活用し、地域課題の学習成果を市長に報告した。

4 外部人材の活用 （款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）4．人材育成推進費

スマートシティを推進するため、引き続き総務省の地域活性化起業人制度（企業人材派遣制度）を活用して知識・ノウハウを有する人材1名の派遣を受け入れた。

（1）地域活性化起業人制度による派遣に関する協定

- ・協定締結先：日本電気株式会社
- ・協定期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日
- ・負担金額：5,907,440円

（2）外部人材の主な取組

- ・スマートシティ伊勢推進構想の実現に向けた支援
- ・各課が抱える課題を解決するための企画・立案の支援
- ・人材育成カレッジ【企画・立案に関する職員向け研修】の開催 など

○ 行政DXの推進 （款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）6．デジタル化推進費

1 伊勢市デジタル行政推進ビジョンに基づいた各施策の推進

「伊勢市デジタル行政推進ビジョン」に基づいて行政DXを推進した。各施策の効果を検証し、進捗具合に応じて成果指標の見直しなどを行った。

2 伊勢市デジタル推進本部ワーキンググループの運営

全庁横断的なデジタル化を推進するため、4つのテーマ別ワーキンググループを設置し、各テーマについて検討した。

【令和7年度のテーマ】

- ・次期デジタル行政推進ビジョン策定、DX人材育成計画、こどもデータ連携、ワンストップ窓口推進

3 職員のデジタルリテラシーの向上

（1）研修会の開催

デジタル政策課が推進するDX施策の理解を深め、さらなる行政DX推進を図るため、庁内ツールの利活用研修を開催した。

No.	研修内容	対象者	回数	受講者数
1	LoGo フォーム利活用研修【基礎編】	受講希望者	回 1	人 17
2	LoGo フォーム利活用研修【応用編】	受講希望者	2	12
3	AI-OCR・RPA 利活用研修	受講希望者	2	15
4	AI 議事録利活用セミナー	受講希望者	1	15
5	生成 AI 活用研修	受講希望者	3	34
6	Excel 基礎研修【初心者編】	受講希望者	2	8
7	Excel 基礎研修【基礎編】	受講希望者	4	42
8	Excel 基礎研修【応用編】	受講希望者	4	44
9	BPR ワークショップ	受講希望者	1	4
10	PowerPoint 研修【初心者編】	受講希望者	2	15
11	PowerPoint 研修【機能編】	受講希望者	4	21
12	PowerPoint 研修【デザイン編】	受講希望者	4	21
13	生成 AI 基礎研修	対象者のみ	1	12
14	Copilot_Gemini 基礎研修【前期】	対象者のみ	2	11
15	Copilot Master Class	対象者のみ	1	6
16	Copilot_Gemini 実習形式勉強会【前期】	対象者のみ	2	10
17	Copilot_Gemini 基礎研修【後期】	対象者のみ	2	10
18	Copilot_Gemini 実習形式勉強会【後期】	対象者のみ	1	10
	合計		39	307

※ No.13、14、16～18 は、組織運営の効率化 項目 5（3）「Microsoft 365 Copilot / Google Gemini 活用等研修業務委託」に記載の回数及び人数と重複

（２）職員のデジタルリテラシー向上

職員のデジタルリテラシー向上が求められていることから、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が主催するリモートラーニングの受講を促し、自治体 DX や ICT に関する基礎知識、情報セキュリティや個人情報保護の意識の向上及び IT パスポート資格の取得に向けた知識習得のための講座を、職員 173 人（会計年度任用職員を含む）が受講した。

4 三重県・市町 DX 推進協議会

三重県と県内市町間の連携を強化し、行政における DX の推進と社会全体の DX の推進を図ることを目的に設置されている、三重県・市町 DX 推進協議会に参加し、自治体 DX 推進に向け取り組んだ。

○ 情報システム関係（款）２．総務費（項）１．総務管理費（目）６．デジタル化推進費など

Ⅰ 伊勢市システム管理・セキュリティ委員会の開催

情報システム及びネットワークシステムの整備・管理に関すること並びにサイバーセキュリティの確保を図るため、藤本副市長を委員長とした、伊勢市システム管理・セキュリティ委員会を設置している。

令和7年度は、委員会を16回開催し、24案件についてシステム更新等における競争性の確保を基本に置きながら、各課業務の効率化やサービス向上、システムの安定稼働を念頭に適正な仕様内容等を検討した。また、セキュリティ事案6件について、対応方法等について協議した。

2 自治体情報システムの標準化・共通化対応

標準化法に基づく「地方公共団体情報システム標準化基本方針」にて、地方公共団体は住民記録や税関連等の指定された基幹系20業務について、令和7年度末までに標準仕様書に準拠したシステムに移行することが求められていた。

令和6年度に契約締結をした19業務及び令和7年度に生活支援課にて契約した1業務の計20業務について、委託事業者と打ち合わせ等を重ねながら稼働に向けた準備を進め、対象20業務全ての標準化対応を完了した。

また、標準システムを構築する基盤となるデジタル庁が整備したガバメントクラウド環境の利用に関する契約を行い、利用を開始した。

(1) 伊勢市総合住民情報システム標準化対応業務委託

- ・契約期間：令和7年2月25日～令和8年3月31日（債務負担行為）
- ・契約金額：304,206,133円

(2) 生活保護システム標準化対応業務委託（生活支援課執行）

- ・契約期間：令和7年8月13日～令和8年2月28日
- ・契約金額：6,384,400円

3 システム導入・更新関連業務

(1) 事務用パソコン等の更新

事務用パソコン等のOSサポート期限切れ対応のため、端末の入れ替えを行うためにノート型パソコンや交換用ストレージの調達を行うなどし、パソコンの入れ替えを行った。

また、ソフトウェアのサポート期限を迎えることから、オフィス互換ソフト、Microsoftライセンス及びDocuWorksライセンスの調達を行った。

① ノート型パソコン（事務用） 410台

- ・契約期間：令和6年12月18日～令和7年7月31日（債務負担行為）
- ・契約金額：45,980,000円

② ノート型パソコン（災害対策本部等用） 45台

- ・契約期間：令和7年3月19日～令和7年7月31日（債務負担行為）
- ・契約金額：5,489,000円

③ ノート型、デスクトップ型パソコン（各課所管システム用） 44台（注1）

- ・契約期間：令和7年7月30日～令和7年9月30日
- ・契約金額：4,596,900円（注1）

（注1）すべて収納推進課ほか5課からの配当替による執行。

④ オフィス互換ソフト 486ライセンス（注2）

- ・契約期間：令和7年6月18日～令和7年7月18日
- ・契約金額：10,264,320円（注2）

(注2) 収納推進課ほか5課からの配当替を含んだ数量及び金額。

デジタル政策課分は310ライセンス、6,547,200円。

- ⑤ Microsoft ライセンス (表計算ソフト 1,320、データベースソフト 50、サーバー接続ライセンス 1,430 ライセンス等)

- ・ 契約期間：令和7年7月9日～令和7年8月8日
- ・ 契約金額：50,270,000円

- ⑥ パソコン用交換ストレージ (内蔵SSD) 280個 (注3)

- ・ 契約期間：令和7年8月28日～令和7年10月3日
- ・ 契約金額：1,423,400円 (注3)

(注3) 教育メディア課からの配当替を含んだ数量及び金額。

デジタル政策課分は239個、1,229,470円。

- ⑦ DocuWorks ライセンス 1,100ライセンス

- ・ 契約期間：令和8年1月28日～令和8年2月27日
- ・ 契約金額：6,421,800円

(2) ファイルサーバーの更新

各課の事務データを保存するファイルサーバー装置の保守満了に伴って、新たなファイルサーバー装置を調達し、装置を更新した。

- ・ 契約期間：令和7年7月2日～令和7年11月28日
- ・ 契約金額：38,497,800円

(3) 入室管理システムの更新

サーバー室の出入口扉に設置している入室管理システムの保守満了に伴って、新たな入室管理システムに更新した。

- ・ 契約期間：令和7年10月2日～令和7年11月28日
- ・ 契約金額：625,020円

(4) 行政情報ネットワークの整備

本市行政情報ネットワークにおける無線LAN対応施設の拡充及び新たに4事務拠点の開設に必要な機器調達及び委託を行った。

- ① 無線ネットワーク機器

- ・ 契約期間：令和7年7月31日～令和7年9月12日
- ・ 契約金額：617,100円

- ② 防災多目的ホールLANケーブル配線等業務委託

- ・ 契約期間：令和7年9月11日～令和7年9月24日
- ・ 契約金額：117,700円

- ③ 伊勢市行政ネットワーク無線機器設定業務委託

- ・ 契約期間：令和7年11月18日～令和7年12月19日
- ・ 契約金額：379,500円

- ④ 伊勢市ネットワーク設定等 (拠点追加) 業務委託

(伊勢市上下水道部庁舎、伊勢やすらぎ公園墓地管理事務所)

- ・ 契約期間：令和 7 年 11 月 18 日～令和 7 年 12 月 19 日
- ・ 契約金額：1,342,000 円 (注)

(注) 環境課からの配当替を含んだ金額。

デジタル政策課分は 1,096,700 円。

⑤ 伊勢市住民情報系ネットワーク拠点追加業務委託

- ・ 契約期間：令和 7 年 11 月 5 日～令和 7 年 12 月 24 日
- ・ 契約金額：885,500 円

⑥ 伊勢市ネットワーク設定等(拠点追加)業務委託

(伊勢市歴史博物館、離宮の湯)

- ・ 契約期間：令和 8 年 2 月 26 日～令和 8 年 3 月 30 日
- ・ 契約金額：490,600 円

4 システム改修・法制度改正対応等関連業務

(1) 社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)への対応業務

社会保障・税番号制度対応にあたり、令和 7 年 6 月版のデータ標準レイアウトの変更に伴う、システム改修の対応を行った。

① 伊勢市総合住民情報システム改修業務委託(令和 7 年 6 月社会保障・税番号制度データ標準レイアウト改版対応)

- ・ 契約期間：令和 7 年 5 月 12 日～令和 7 年 6 月 13 日
- ・ 契約金額：2,722,500 円

(2) 令和 7 年度就労選択支援の創設に伴う対応(高齢・障がい福祉課執行)

令和 7 年度就労選択支援の創設に対応するため、システム改修を行った。

① 総合住民情報システム(障害者総合支援システム)改修業務委託(令和 7 年度就労選択支援の創設に伴う対応)

- ・ 契約期間：令和 7 年 7 月 14 日～令和 7 年 9 月 30 日
- ・ 契約金額：852,500 円

(3) 人事給与システム(人事評価管理)機能改修(職員課執行)

現行の人事給与システムにおける人事評価管理業務の効率化を図るため、必要となるシステム改修を行った。

① 伊勢市行政情報(内部情報系)システム(人事給与システム)人事評価管理機能改修業務委託

- ・ 契約期間：令和 7 年 8 月 27 日～令和 7 年 9 月 30 日
- ・ 契約金額：605,000 円

5 セキュリティ対策事業

(1) セキュリティポリシーの改定準備

伊勢市情報セキュリティポリシーについて、総務省策定の「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に準じた形式のセキュリティポリシーへの改定

作業を行った。また、改定されたセキュリティポリシーの基本方針を地方自治法で規定されている「サイバーセキュリティを確保するための方針」と位置づけ、令和８年度に公開するための準備を行った。

（２）情報システム等に関する各種セミナーの受講

地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が主催する、情報システム等に関するセミナーについて、令和７年度は情報セキュリティマネジメント、プロジェクト管理、BPR 実践、情報セキュリティ監査、調達・委託管理実践の５セミナーの受講を行い、情報システム等に関する知識の向上を図った。

また、（公財）三重県市町村振興協会が主催の情報セキュリティ関連の研修（セキュリティポリシーガイドライン、ランサムウェア対策、情報セキュリティ監査、サイバーセキュリティ）を受講した。

（３）e ラーニング等の研修受講

総務省が主催する、情報連携の仕組みやセキュリティ対策に関する Web 形式の研修について、マイナンバー取扱事務担当者を中心に計 90 人が受講し、適切な取扱い方法等に関する知識の向上を図った。

なお、J-LIS が主催するデジタル人材育成のための Web 形式での基礎研修については、計 197 人が受講し、最新のセキュリティ技術や ICT に関する知識の習得及び意識レベルの向上を図った。

（４）サイバー防御演習の受講

情報システム管理者としてのインシデントレスポンス能力の向上を図るため、国立研究開発法人情報通信研究機構及び総務省が主催する実践的サイバー防御演習（CYDER）に参加し、初級コースを２名、プレ CYDER（基礎コース）を７名が受講した。

（５）特定個人情報取扱に係る監査の実施

特定個人情報を利用する所属における安全管理措置の一環として、総務課とデジタル政策課にて、計画に基づいて上半期に企画調整課及び住宅政策課、下半期に危機管理課を対象に内部監査を実施し、特定個人情報等の管理状況について適切に運用が行われていることを確認した。

6 情報システム関連の危機管理（防災）対策

大規模災害罹災時における業務継続に必要な各システムのデータを安全に保管するため、各システムのバックアップデータの入った磁気テープ等を、週１回、同時被災のない遠隔地で管理、保管するよう業務を委託した。

（１）令和７年度磁気テープ等保管業務委託

- ・ 契約期間：令和７年４月１日～令和８年３月３１日
- ・ 支出金額：690,800 円（単価契約）

7 市税等各種帳票印刷及び資料情報等作成業務

市税等に関する各種帳票の印刷及び封入封緘等の作業、並びに市税等の住民税申告書等の紙資料データを電子データ化する作業等を、関係各課において委託した。また、標準化により影響が

ある各課が発注する帳票印刷関連業務委託等の調達支援を行った。

(1) 住民情報システム関連帳票印刷等業務委託（税関係等）（課税課執行）

- ・ 契約期間①：令和4年10月26日～令和8年3月31日（債務負担行為）
- ・ 支出金額①：11,943,869円（単価契約・令和7年度分）
- ・ 契約期間②：令和7年9月10日～令和9年5月21日（債務負担行為）
- ・ 支出金額②：14,727,534円（単価契約・令和7年度分） ※課税課に配当替

(2) 住民情報システム関連帳票印刷等業務委託（医療関係等）（医療保険課執行）

- ・ 契約期間：令和4年10月26日～令和8年3月31日（債務負担行為）
- ・ 支出金額：4,878,587円（単価契約・令和7年度分）

(3) 住民情報システム関連帳票印刷等業務委託（介護・後期高齢関係）（介護保険課執行）

- ・ 契約期間：令和4年11月2日～令和8年1月31日（債務負担行為）
- ・ 支出金額：182,512円（単価契約・令和7年度分）

(4) 住民情報システム関連データ読取及び入力等業務委託（健康課執行）

- ・ 契約期間①：令和4年11月30日～令和8年3月31日（債務負担行為）
- ・ 支出金額①：14,169,658円（単価契約・令和7年度分）
- ・ 契約期間②：令和7年10月29日～令和9年3月31日（債務負担行為）
- ・ 支出金額②：4,474,553円（単価契約・令和7年度分）

8 全庁向けシステム等の保守

総合住民情報システム及びネットワークシステム等の、庁内各課で横断的に利用するシステムや機器等について、その安定稼働を確保するため、保守委託契約を締結し、保守管理を実施した。

また、総合住民情報システム、行政情報システム及びネットワークシステムについては、契約業者との運用定例会を毎月開催するなどし、システムの安定稼働に努めた。

保守委託契約した主なシステム	保守契約先	契約金額
総合住民情報システム	(株) 松阪電子計算センター	円 19,318,860
総合住民情報システム用ネットワーク	(株) 松阪電子計算センター	2,970,000
ネットワーク・インターネットシステム	NTT 西日本 (株) 三重支店	14,327,830

9 各課業務におけるシステム運用支援等

各課でのシステム導入や情報機器の購入に伴う発注仕様書の作成を行うとともに、全庁的な情報システム運用管理の観点から仕様書等の内容確認を実施した。

支援内容	件数	備考
仕様書作成	42件	・ ノートパソコン、プリンタ等
仕様書等の内容確認	281件	・ 委託、賃貸借等 194件 ・ 備品、消耗品、通信 87件

企 画 調 整 課

○ 企画調整関係

Ⅰ 第3次伊勢市総合計画（款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）7．企画費

本市のまちづくりの基本理念を明らかにするとともに、その理念に基づく市政運営のあり方を示すものとして平成30年に策定した第3次伊勢市総合計画の推進を図った。

（1）第3次伊勢市総合計画後期基本計画の策定

中期基本計画が令和7年度末で計画期間が終了することから、これに続く後期基本計画（令和8年度～令和11年度）の策定を進めた。

（2）伊勢市総合計画審議会

伊勢市総合計画条例第8条の規定に基づき、学識経験者、公共的団体等の代表者、関係行政機関の職員等15名で構成する伊勢市総合計画審議会において、審議を行った。

・ 令和7年度第1回伊勢市総合計画審議会

開催日：令和7年7月9日

場 所：シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢4階 大会議室

内 容：第3次伊勢市総合計画中期基本計画の暫定総括について

・ 令和7年度第2回伊勢市総合計画審議会

開催日：令和7年10月14日

場 所：伊勢市役所 本庁舎東館5階 5-3・5-4会議室

内 容：第3次伊勢市総合計画後期基本計画（案）について

・ 令和7年度第3回伊勢市総合計画審議会

開催日：令和7年12月2日

場 所：伊勢市役所 本庁舎東館5階 5-3・5-4会議室

内 容：第3次伊勢市総合計画後期基本計画（案）について

・ 令和7年度第4回伊勢市総合計画審議会

開催日：令和7年12月23日

場 所：伊勢市役所 本庁舎東館5階 5-3・5-4会議室

内 容：第3次伊勢市総合計画後期基本計画（案）について

（3）高校生懇談会

多様な意見を反映することを目的に、市内高校において、「伊勢市長と高校生の懇談会」を実施した。懇談会においては、高校生が発言しやすい雰囲気をつくることを目的として、高校生と年齢の近い皇學館大学生にファシリテーターを務めていただいた。

	明野高等学校	宇治山田高等学校	伊勢工業高等学校	伊勢高等学校
開催日	7. 7. 7	7. 7. 11	7. 7. 22	7. 11. 21
参加単位(人数)	生徒会 6人	2年4組 40人	建築研究部 9人	ダンス部 30人
懇談テーマ	高校生と地域のかかわりについて	高校生が考える“魅力的なまち”について		
進行	皇學館大学生 1人	皇學館大学生 2人	皇學館大学生 1人	市職員 1人

(4) 市民アンケートの実施

市民の意識や日常生活における活動等を把握し、今後の市政に反映させるための基礎資料を得ることを目的として、市民アンケートを実施した。

実施期間	調査対象等	調査項目	回答結果
7. 8. 25 ～ 7. 9. 14	・調査対象 市内にお住いの平成22年4月1日以前にお生まれの方（令和7年度中に16歳以上となる方） ・抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出により3,300人を抽出 ・調査方法 配布：郵送 回収：郵送またはインターネット	①市民自治、国際交流、男女共同参画、人権 ②障がい者福祉、高齢者福祉、生活の中での困りごと、こころの健康 ③運動・スポーツ ④文化芸術活動 ⑤図書館 ⑥ごみ減量・資源化、温暖化防止 ⑦防災 ⑧観光、商業、地産地消 ⑨交通環境、公園、住宅、中心市街地 ⑩情報端末、広報活動、市役所の接遇 ⑪まちづくり、住みやすさ ⑫市役所の取組	回答者数 1,228人 回答率 37.2%

(5) パブリックコメント（政策意見提出制度）

対 象：第3次伊勢市総合計画後期基本計画（案）

募集期間：令和8年2月26日～3月26日

意見数：35件、15人

2 行財政改革（款）2. 総務費（項）1. 総務管理費（目）7. 企画費

総合計画に基づく各種の事業・取組等を推進するにあたり、時代にふさわしい、また、持続可能な公共サービスを提供するため、行財政改革の推進を図った。

(1) 伊勢市行財政改革指針の進行管理

令和4年3月に策定した行財政改革指針（令和4年度～令和7年度）に基づき、令和7年度を取組計画等を整理した「伊勢市行財政改革指針取組テーマレポート【令和7年度】」を策定した。また、第3次伊勢市総合計画後期基本計画（案）への行財政改革指針の統合にあたり、4年間の取組を検証した。

(2) 伊勢市行政改革推進委員会

学識経験者など8名の委員で構成する伊勢市行政改革推進委員会において、行政改革の推進に係る調査審議を行った。

・令和7年度第1回伊勢市行政改革推進委員会

開催日：令和7年4月22日

場 所：伊勢市役所 本庁舎東館4階 4－2会議室

内 容：「伊勢市行財政改革指針取組テーマレポート【令和7年度】」（案）について

・令和7年度第2回伊勢市行政改革推進委員会

開催日：令和7年12月4日

場 所：伊勢市役所 本庁舎東館4階 4－2会議室

内 容：令和8年度からの行財政改革（第3次伊勢市総合計画後期基本計画（案））について

3 定住自立圏構想 （款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）7．企画費

国の定住自立圏構想推進要綱に基づき、本市を中心市として、生活圏や経済圏を共にする鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町の3市5町で、伊勢志摩定住自立圏を形成している。

圏域が目指す将来像及びその実現のために必要な具体的取組等を明らかにする「第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン（令和6年3月28日策定）」を推進するため、圏域の関係者17名で構成される伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会及び圏域の市町長で構成される伊勢志摩定住自立圏推進協議会において、取組状況等に係る協議、圏域の課題に係る懇談を行った。

・令和7年度 第1回伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会

開催日：令和7年11月18日

場 所：伊勢市役所 本庁舎東館5階 5－3・5－4会議室

内 容：第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン各取組の進捗について
圏域の現状と課題（懇談）

・令和7年度 第1回伊勢志摩定住自立圏推進協議会

開催日：令和7年12月24日

場 所：志摩市役所5階 庁議室

内 容：第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン各取組の進捗について
伊勢志摩定住自立圏についての情報交換

4 伊勢市総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、総合教育会議において、教育を行うための諸条件の整備その他地域の実情に応じた教育等の振興を図るための重点施策等について協議・調整を行った。

・令和7年度 第1回伊勢市総合教育会議

開催日：令和8年1月21日

場 所：小俣総合支所 3階 大研究室

内 容：守る・育てる 情報モラル安心プロジェクトについて

5 広告掲載事業

市が所有する様々な資産を、民間企業の広告出稿等によって積極的に有効活用し、新たな財源

の確保及び事業経費の削減などを図るため、広告掲載事業を行った。

○実施媒体：広報いせ、ホームページバナー、庁内案内板、広告入り窓口封筒、納税通知書用封筒、ごみカレンダー、資源拠点ステーション、倉田山公園野球場（ベンチ上壁面・外野グラウンドフェンス）、伊勢フットボールヴィレッジ広告板、下水道事業パンフレット、「ママ安心サポートいせ」パンフレット、雑誌スポンサー

○収入額：9,442,200 円

○ シティプロモーション関係

Ⅰ シティプロモーションの推進 （款） 2. 総務費（項） Ⅰ. 総務管理費（目） 7. 企画費

市民及び国内外の人々から選ばれる自治体となるべく、市の地域資源・魅力の認知度向上を目指すシティプロモーションの取組を進めた。

（Ⅰ）伊勢市情報発信番組制作・放送

三重テレビ放送株式会社に委託し、同社の制作する地上波テレビ番組「Mie ライブ」内のコーナー枠「旬感☆Mie」において、市の各種施策やイベントなど、市に関する様々な情報を放映することにより、市外在住者の観光等の誘発、市民アイデンティティの向上及びシビックプライドの醸成を図った。

【情報発信番組一覧】

放 映 日	内 容
7. 5. 16	・ 令和 7 年度の取り組みと市制 20 周年について ・ いよいよはじまる御遷宮行事
7. 11. 5	・ 手話言語条例制定 10 周年記念事業 ・ 伊勢市×皇學館大学 ～インクルーシブスポーツ推進プロジェクト～
8. 3 .3	・ 【孤独・孤立対策】伊勢市役所における短時間雇用の取組 ・ もしもに備える！わが家の耐震化

※旬感☆Mie 放送時間：18 時～（生放送） ※再放送：翌朝 7 時 30 分～

（Ⅱ）情報配信

高い発信力を有するプレスリリースサービスである PR TIMES を活用することにより、独自性・優位性のある市の取組や施策、地域の魅力を配信した。

配信件数：21 件

（Ⅲ）シティプロモーション推進研修

シティプロモーション推進の基本となるマインド醸成や魅力の再発見、他市町の事例を学ぶことを目的とした研修を実施した。

- ・ 講 師：林 博司 氏（合同会社 LOCUS BRIDGE 共同代表）
- ・ 実施日：令和 7 年 7 月 28 日、29 日
- ・ 対象者：主事級以下の正規職員（70 名）
- ・ 内 容：「シティプロモーションとは」、「シティプロモーションの必要性」、「まちの好きなところ、良いところを考える」

(4) 移住・定住の推進

三重県等が主催する移住相談会への参加や伊勢志摩定住自立圏内の市町合同での移住フェアの開催により、市内での暮らしの魅力や移住関連施策のPRを実施した。

【移住相談会への参加】

開催日	イベント名	主催	開催場所
7. 8. 30	みえ移住フェア 2025in 名古屋	三重県	ウインクあいち
7. 9. 20 21	第21回ふるさと回帰フェア 2025	認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センター	東京国際フォーラム ホール E
7. 10. 26	みえ移住フェア 2025in 大阪	三重県	大阪 OMM 2 階 F・F2 ホール
7. 11. 16	伊勢志摩移住フェア	伊勢志摩定住自立圏域構 成市町	三重テラス 2 階コミ ュニティスペース
7. 12. 6	みえ移住フェア 2025in 東京	三重県	東京交通会館 12 階 カトレアサロン B

(5) クラウドファンディング型ふるさと納税活用補助金

市の活力創出や地域課題解決につながる「新しい」民間事業や活動を促進するため、クラウドファンディング型ふるさと納税により受けた寄附金を原資に補助を行った。

- ・事業認定等：認定 20 件（うち 6 件は認定後、取り下げ）
- ・令和 7 年 10 月～令和 8 年 1 月にかけて 14 件のクラウドファンディングを実施

寄附金額	募集経費	補助交付決定額	（左記のうち交付済額）
9,152,000 円	3,890,197 円	5,261,803 円	（1,818,397 円）

※補助交付決定額のうち 3,443,406 円は令和 8 年度へ繰越

(6) 市の花・木・鳥

市の花・木・鳥を知り、愛着をもってもらうため、広報いせの 15 日号表紙に継続して掲載したり、他の市印刷物への掲載を行ったりするなど、周知啓発を行った。また、伊勢市出身の絵本作家 亀山 達矢 氏によるユニット tupera tupera が作成したキャラクターイラストを活用した周知啓発も行った。

2 伊勢市ふるさと応援寄附金 （款） 2. 総務費（項） 1. 総務管理費（目） 7. 企画費

市の貴重な自主財源の確保、地元特産品の PR 及びブランド力の向上、市内産業や観光の振興を目的として、ふるさと納税制度を活用した寄附拡大の取組を推進した。

また、地方創生の取組の推進を目的に、企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）を活用した寄附拡大の取組も推進した。

(1) ふるさと応援寄附金

- ・寄附受領件数：13,613 件
- ・寄附受領金額：566,360,961 円

【受領した寄附の目的別内訳】

事業区分(活用先)	件数 (件)	金額(円)
市政全般(特に指定しない)	5,770	240,696,795
観光・産業の振興、安定した雇用につなげるまちづくり	1,336	57,462,100
地域の文化財や民俗行事の保存、住民主体のまちづくり	1,173	50,827,000
子どもの健やかな成長や子どもを産み育てやすい環境づくり	3,308	134,611,500
切れ目のない福祉・医療の充実、共生社会のまちづくり	565	20,152,100
自然災害への備えや安心して暮らせるまちづくり	811	31,611,700
快適な暮らしのための環境づくりや都市基盤づくり	395	17,105,000
具体的に用途を指定した方	21	6,119,638
GCF※(だれもが自分らしく暮らせるまちへ 医療的ケア児・障がい児とその家族をサポート！)	51	2,464,000
GCF※(「貧困の連鎖」を生まないために こどもの学びを応援したい！～学習塾代の助成事業に ご寄付をお願いします～)	24	1,471,128
GCF※(猫たちが もっと×3 幸せに暮らす伊勢に!!)	49	860,000
GCF※(多くの方に満足いただける環境をめざし【伊勢フットボールヴィレッジAピッチ人工芝張替】)	49	882,000
GCF※(伊勢の民俗行事、「お木曳行事」をはじめとした伊勢の伝統・文化を支える！)	61	2,098,000
合計	13,613	566,360,961

※GCF（ガバメントクラウドファンディング）は、ふるさと納税型クラウドファンディングの
1つで、自治体の掲げる課題解決のテーマを応援するために、寄附をする仕組み。

(2) 企業版ふるさと納税

- ・ 寄附受領件数：14 件
- ・ 寄附受領金額：53,100,000 円

事業区分(活用先)	件数 (件)	金額(円)
安定した雇用を創出する事業	2	10,000,000
伊勢への新しいひとの流れをつくる事業	1	300,000
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業	6	10,200,000
暮らしやすい生活圏をつくる事業	5	32,600,000
合計	14	53,100,000

(3) 新規取組

寄附額増に向け新たなポータルサイトを導入した。

- ・ ANA ふるさと納税を令和7年6月2日から開始。
- ・ JAL ふるさと納税を令和7年7月1日から開始。
- ・ Amazon ふるさと納税を令和7年9月2日から開始。
- ・ FC. ISE-SHIMA ふるさと納税を令和7年9月22日から開始。

3 伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(款) 2. 総務費(項) 1. 総務管理費(目) 7. 企画費

伊勢市人口ビジョンを踏まえ令和2年3月に策定した「第2期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が、令和7年度末で計画期間が終了することから、暫定総括を取りまとめるとともに、次期(第3期)総合戦略を包含する総合計画・後期基本計画の策定を進めた。

- ・令和7年度第1回伊勢市まち・ひと・しごと創生会議

開催日：令和7年11月25日

場 所：伊勢市役所 本庁舎東館5階 5-3・5-4会議室

内 容：第3期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について

- ・令和7年度第2回伊勢市まち・ひと・しごと創生会議

開催日：令和7年12月22日

場 所：伊勢市役所 本庁舎東館5階 5-3・5-4会議室

内 容：第3期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について

- ・パブリックコメントの実施

意見募集期間：令和8年2月26日～令和8年3月26日

意見数：11件

4 市制20周年関係 (款) 2. 総務費(項) 1. 総務管理費(目) 7. 企画費

市制20周年を迎えることを祝うとともに次の20年に向けてのきっかけづくりのために、市主催の記念事業の実施およびPRを行った。また、市制20周年を広くPRするために民間主催の記念事業の募集およびPRを行った。

(1) タイムカプセル掘り起こしイベント

合併1周年記念式典において埋めた、当時の小中学生を対象に募集した作文を入れたタイムカプセルを掘り起こすイベントを実施した。

- ・開催日：令和7年9月14日

- ・場 所：いせトピア

- ・参加者：49名

- ・内 容：タイムカプセルの掘り起こし、参加者同士の交流、記念撮影

(2) 伊勢市制施行20周年記念式典

伊勢市制施行20周年記念式典を開催した。

- ・開催日：令和7年11月1日

- ・場 所：いせトピア

- ・参加者：306名

- ・内 容：市民功労賞等の表彰、市内中学生による合唱、動画上映(20周年のあゆみ)、地元奉曳団による木遣り

(3) 市主催事業のPR

市主催の祝賀事業と20周年を契機とした取組からなる記念事業を取りまとめ、事業一覧を

市 HP で情報発信した。また、20 周年を契機とした取組については、事業概要や担当者の思いを市 HP で情報発信した。

祝賀事業：39 事業

20 周年を契機とした取組：16 事業

(4) 民間主催事業の PR

市制施行 20 周年事業の冠やロゴ使用を承認した事業について、市 HP や LINE で情報発信した。

情報発信事業件数：103 件

○ 調査統計関係

1 「伊勢市人口ビジョン」の改訂 (款) 2. 総務費(項) 1. 総務管理費(目) 7. 企画費

次期地方版総合戦略の基礎資料とするため、人口減少の要因分析や将来人口推計等を行い、「伊勢市人口ビジョン」の改訂を行った。

2 各種統計調査結果の整理、情報発信

(款) 2. 総務費(項) 5. 統計調査費(目) 1. 統計調査総務費

市の自然、人口、産業、民生、建設、教育等の各種統計調査結果データの収集・整理と情報発信を行った。

(1) 市勢統計要覧

市に関する基本的統計データを収録した「2025 年(令和 7 年)版市勢統計要覧」を作成し、発行した。

(2) 伊勢市統計データベース

e-Stat(政府統計の総合窓口)、みえ DataBox(三重県所管)から市に関するデータを収集し、市ホームページで「伊勢市統計データベース」を公開した。

3 統計調査員の確保対策 (款) 2. 総務費(項) 5. 統計調査費(目) 1. 統計調査総務費

国が実施する統計調査に際して、統計調査員、指導員の選任が困難になっている現状を改善するため、あらかじめ希望者を登録することを目的として、広報いせ、市ホームページ、伊勢市公式 LINE 等で募集を行った。

・令和 7 年度新規登録者数 48 名 (令和 8 年 3 月 31 日現在登録者数 215 名)

4 三重県人口推計調査(調査周期：毎月 所管：三重県)

(款) 2. 総務費(項) 5. 統計調査費(目) 2. 諸統計調査費

国勢調査による人口、男女数及び世帯数を基準に、住民基本台帳における移動を加減して、毎月の人口を推計した。

令和 8 年 3 月 1 日現在

総人口	男	女	世帯数
115,001 人	54,496 人	60,505 人	52,828 世帯

※令和 7 年国勢調査人口速報集計結果を基礎として算出

5 学校基本調査（調査周期：毎年 所管省庁：文部科学省）

（款）2．総務費（項）5．統計調査費（目）2．諸統計調査費

学校教育行政上の基礎資料を得るため、市内の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小・中学校等の園児・児童・生徒数、教員数等を調査した。

・調査期日 令和7年5月1日

調査対象	公私立別	園・学校数	園児・児童 ・生徒数	教 員 数	
				本務者	兼務者
幼稚園	公 立	園・校 2	人 97	人 12	人 1
	私 立	6	252	49	8
幼保連携型 認定こども園	公 立	1	99	18	13
	私 立	7	932	146	40
小学校	公 立	22	5,378	431	109
中学校	公 立	10	2,926	215	63
	私 立	1	47	11	10
計		49	9,731	882	244

6 国勢調査（調査周期：5年 所管省庁：総務省）

（款）2．総務費（項）5．統計調査費（目）2．諸統計調査費

我が国の人口・世帯の実態を把握し、衆議院の小選挙区の改定や交付税の算定基準などの法定人口としての利用を始め、各種行政施策の基礎資料として整備することを目的として、市内全ての世帯に対して調査を実施した。

・調査期日 令和7年10月1日

・調査対象 全世帯（全959調査区）

・調査員数 651名

・指導員数 99名

【人口速報集計（令和8年5月29日総務省公表）】

総人口	男	女	世帯数
人 115,468	人 54,663	人 60,805	世帯 52,858

※人口等基本集計は、令和8年9月に公表予定

7 経済センサス－活動調査（調査周期：5年 所管省庁：総務省・経済産業省）

（款）2．総務費（項）5．統計調査費（目）2．諸統計調査費

経済センサス－活動調査は、我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を、全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得ることを目的とする。調査期日が令和8年6月1日のため、適正な実施に向け、令和7年度は調査員の推薦など諸準備を行った。

財 政 課

I 歳入歳出予算

本年度における一般会計及び各特別会計の予算額及び議決の状況は、次のとおりであった。

(単位：千円)

区 分		当 初 予 算 額 7.3.24 議決	補 正 予 算 額		
			7. 7. 2 議 決	7. 7. 2 議 決	7.10. 7 議 決
一 般 会 計		60,753,000	①554,452	②55,947	③268,354
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	12,417,682			
	後期高齢者医療	3,876,335			
	介 護 保 険	15,525,107			①87,988
	観 光 交 通 対 策	574,538			
	土 地 取 得	568,969			
	計	32,962,631			87,988
合 計		93,715,631	554,452	55,947	356,342

区 分		補 正 予 算 額			
		7.12.22 議 決	7.12.22 議 決	7.12.22 議 決	8. 1.19 専 決
一 般 会 計		④621,857	⑤236,857	⑥350,658	⑦92,834
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	①59,599	②5,065		
	後期高齢者医療	①9,122	②△3,699		
	介 護 保 険	②4,934	③2,432		
	観 光 交 通 対 策	①※	②906		
	土 地 取 得				
	計	73,655	4,704		
合 計		695,512	241,561	350,658	92,834

(単位：千円)

区 分		補 正 予 算 額			繰 越 明許費 繰越額
		8. 2. 9 議 決	8. 3. 23 議 決	8. 3. 23 議 決	
一 般 会 計		⑧13,793	⑨△227,829	⑩744,079	1,898,433
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険		③△50,614		
	後期高齢者医療		③192,476		
	介 護 保 険		④537,194		
	観 光 交 通 対 策		③13,922		
	土 地 取 得		①△270,150		
	計		422,828		
合 計		13,793	194,999	744,079	1,898,433

区 分		予算総額
一 般 会 計		65,362,435
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	12,431,732
	後期高齢者医療	4,074,234
	介 護 保 険	16,157,655
	観 光 交 通 対 策	589,366
	土 地 取 得	298,819
	計	33,551,806
合 計		98,914,241

(注) ○内の数字は、補正の回数を表す。

※債務負担行為の補正のみ

2 地方交付税

本年度における地方交付税の状況は、次のとおりであった。

(1) 普通交付税 11,630,323 千円

・ 基準財政需要額	27,949,456 千円
・ 基準財政収入額	16,319,133 千円
・ 交 付 基 準 額	11,630,323 千円
・ 調 整 額	- 千円
・ 交 付 決 定 額	11,630,323 千円

(2) 特別交付税 1,039,020 千円

3 市債の状況

一般会計における市債の状況は、次のとおりであった。

(1) 年度末現在高

令和7年度末現在	53,446,973 千円
----------	---------------

(2) 借入状況

事業名	借入額	借入年月日	借入先	借入利率
	千円			%
庁舎等整備事業債	94,200	8.5.27	伊勢農業協同組合	2.05
	3,400	8.5.27	〃	2.40
市民活動センター整備事業債	399,800	8.5.27	〃	2.40
地域自治推進事業債	2,300	8.5.27	〃	1.60
デジタル化推進事業債	7,800	8.5.27	〃	1.60
社会福祉施設整備事業債	51,500	8.5.27	〃	2.05
	31,100	8.5.27	〃	1.60
児童福祉施設整備事業債	3,900	8.5.27	〃	2.05
	8,900	8.5.27	〃	2.40
保健衛生施設整備事業債	1,500	8.5.27	〃	2.05
水道事業出資債	6,600	8.5.27	〃	2.05
	29,000	8.5.27	〃	2.40
労働施設整備事業債	75,400	8.5.27	〃	2.05
農地等整備事業債	5,600	8.5.27	〃	2.05
	105,300	8.5.27	〃	2.40
湛水防除施設整備事業債	120,100	8.5.27	〃	2.40
漁港整備事業債	3,900	8.5.27	〃	2.40
道路等整備事業債	1,201,800	8.5.27	〃	2.40
河川整備事業債	560,500	8.5.27	〃	2.40
港湾海岸整備事業債	14,300	8.5.27	〃	2.40
都市施設整備事業債	191,600	8.4.20	市町村振興協会	1.80
	5,500	8.5.27	伊勢農業協同組合	2.05
	206,000	8.5.27	〃	2.40
街路整備事業債	108,100	8.5.27	〃	2.40
公園整備事業債	30,200	8.5.27	〃	2.05
	1,500	8.5.27	〃	2.40
公営住宅整備事業債	57,000	8.5.27	〃	2.05
消防施設等整備事業債	6,200	8.3.25	全国市有物件災害共済	1.35
	132,900	8.5.27	伊勢農業協同組合	1.60
	6,500	8.5.27	〃	2.40

事業名	借入額	借入年月日	借入先	借入利率
	千円			%
災害対策施設整備事業債	4,100	8.3.25	全国市有物件災害共済	1.35
	12,200	8.5.27	伊勢農業協同組合	1.60
	90,600	8.5.27	〃	2.40
小学校教育施設等整備事業債	61,900	8.5.27	〃	1.60
	38,500	8.5.27	〃	2.05
	16,000	8.5.27	〃	2.40
中学校教育施設等整備事業債	32,300	8.5.27	〃	1.60
	13,700	8.5.27	〃	2.40
社会教育施設整備事業債	180,500	8.5.27	〃	2.05
文化施設整備事業債	75,400	8.5.27	〃	1.60
	3,800	8.5.27	〃	2.05
	217,600	8.5.27	〃	2.40
保健体育施設整備事業債	124,200	8.5.27	〃	2.05
災害復旧事業債	8,700	8.5.27	〃	2.05
計	4,351,900			

4 一般会計決算の状況

(1) 歳入歳出決算額と前年度との比較

ア 歳入

区 分	令 和 7 年 度		令 和 6 年 度		比 較	
	決 算 額 (A)	構 成 比	決 算 額 (B)	構 成 比	(A)－(B) (C)	(C)/(B)
1 市 税	千円 17,729,773	% 28.9	千円 16,742,551	% 29.6	千円 987,222	% 5.9
(1) 普 通 税	16,308,592	26.6	15,336,141	27.1	972,451	6.3
(2) 目 的 税	1,421,181	2.3	1,406,410	2.5	14,771	1.1
2 地 方 譲 与 税	368,264	0.6	362,726	0.6	5,538	1.5
3 利 子 割 交 付 金	30,739	0.0	7,752	0.0	22,987	296.5
4 配 当 割 交 付 金	182,371	0.3	181,299	0.3	1,072	0.6
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	287,072	0.5	250,787	0.4	36,285	14.5
6 法 人 事 業 税 金 交 付 金	408,439	0.7	373,035	0.7	35,404	9.5
7 地 方 消 費 税 金 交 付 金	3,429,835	5.6	3,176,029	5.6	253,806	8.0
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	13,014	0.0	13,044	0.0	△ 30	△ 0.2
9 自 動 車 取 得 税 交 付 金	0	0.0	0	0.0	0	－
10 環 境 性 能 割 交 付 金	54,719	0.1	58,614	0.1	△ 3,895	△ 6.6
11 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	86,257	0.1	86,329	0.2	△ 72	△ 0.1
12 地 方 特 例 交 付 金	118,255	0.2	647,721	1.1	△ 529,466	△ 81.7
13 地 方 交 付 税	12,669,343	20.6	12,475,986	22.1	193,357	1.5
(1) 普 通 交 付 税	11,630,323	18.9	11,497,624	20.4	132,699	1.2
(2) 特 別 交 付 税	1,039,020	1.7	978,362	1.7	60,658	6.2
14 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	8,979	0.0	9,228	0.0	△ 249	△ 2.7
15 分 担 金 及 び 負 担 金	641,645	1.0	625,119	1.1	16,526	2.6
16 使 用 料 及 び 手 数 料	321,143	0.5	312,876	0.6	8,267	2.6
17 国 庫 支 出 金	12,074,019	19.7	10,081,320	17.8	1,992,699	19.8
18 県 支 出 金	4,530,317	7.4	4,165,000	7.4	365,317	8.8
19 財 産 収 入	117,026	0.2	311,839	0.6	△ 194,813	△ 62.5

区 分	年 度 決 算	令 和 7 年 度		令 和 6 年 度		比 較	
		決 算 額 (A)	構 成 比	決 算 額 (B)	構 成 比	(A)－(B) (C)	(C)/(B)
20 寄 附 金		千円 660,613	% 1.1	千円 584,391	% 1.0	千円 76,222	% 13.0
21 繰 入 金		1,835,598	3.0	1,894,078	3.4	△ 58,480	△ 3.1
22 繰 越 金		231,986	0.4	353,613	0.6	△ 121,627	△ 34.4
23 諸 収 入		1,237,751	2.0	1,007,636	1.8	230,115	22.8
24 市 債		4,351,900	7.1	2,810,400	5.0	1,541,500	54.8
歳 入 合 計		61,389,058	100.0	56,531,373	100.0	4,857,685	8.6

イ 歳出（目的別）

区 分	年 度 決 算	令 和 7 年 度		令 和 6 年 度		比 較	
		決 算 額 (A)	構 成 比	決 算 額 (B)	構 成 比	(A)－(B) (C)	(C)/(B)
1 議 会 費		千円 293,784	% 0.5	千円 294,029	% 0.5	千円 △ 245	% △ 0.1
2 総 務 費		6,466,143	10.6	4,940,523	8.8	1,525,620	30.9
3 民 生 費		24,422,073	40.1	23,943,884	42.6	478,189	2.0
4 衛 生 費		5,105,075	8.4	5,321,999	9.5	△ 216,924	△ 4.1
5 労 働 費		138,591	0.2	59,984	0.1	78,607	131.0
6 農林水産業費		1,009,579	1.7	978,879	1.7	30,700	3.1
7 商 工 費		459,340	0.8	331,023	0.6	128,317	38.8
8 観 光 費		613,978	1.0	489,136	0.9	124,842	25.5
9 土 木 費		8,560,512	14.0	7,109,025	12.7	1,451,487	20.4
10 消 防 費		2,716,516	4.5	2,355,396	4.2	361,120	15.3
11 教 育 費		5,538,690	9.1	4,639,110	8.3	899,580	19.4
12 災害復旧費		24,067	0.0	2,835	0.0	21,232	748.9
13 公 債 費		5,573,136	9.1	5,673,274	10.1	△ 100,138	△ 1.8
14 諸 支 出 金		0	0.0	0	0.0	0	—
歳 出 合 計		60,921,484	100.0	56,139,097	100.0	4,782,387	8.5

ウ 歳出（性質別）

区 分	令 和 7 年 度		令 和 6 年 度		比 較	
	決 算 額 (A)	構 成 比	決 算 額 (B)	構 成 比	(A)－(B) (C)	(C)/(B)
1 人 件 費	千円 11,109,118	% 18.2	千円 10,492,523	% 18.7	千円 616,595	% 5.9
2 物 件 費	8,370,271	13.7	7,612,160	13.5	758,111	10.0
3 維 持 補 修 費	302,622	0.5	380,155	0.7	△77,533	△20.4
4 扶 助 費	14,636,990	24.0	14,538,964	25.9	98,026	0.7
5 補 助 費 等	7,317,894	12.0	7,070,587	12.6	247,307	3.5
6 普 通 建 設 費 事 業	7,834,622	12.9	4,593,364	8.2	3,241,258	70.6
(1) 補 助 事 業 費	5,017,484	8.3	2,171,934	3.9	2,845,550	131.0
(2) 単 独 事 業 費	2,576,561	4.2	2,189,017	3.9	387,544	17.7
(3) 事 業 負 担 金	240,577	0.4	232,413	0.4	8,164	3.5
7 災 害 復 旧 費 事 業	24,124	0.0	2,850	0.0	21,274	746.5
(1) 補 助 事 業 費	22,729	0.0	2,095	0.0	20,634	984.9
(2) 単 独 事 業 費	1,395	0.0	755	0.0	640	84.8
8 失 業 対 策 費 事 業	0	0.0	0	0.0	0	－
(1) 補 助 事 業 費	0	0.0	0	0.0	0	－
(2) 単 独 事 業 費	0	0.0	0	0.0	0	－
9 貸 付 金	0	0.0	0	0.0	0	－
10 公 債 費	5,573,136	9.2	5,673,274	10.1	△100,138	△1.8
11 投 資 及 び 出 資 金	35,600	0.1	75,700	0.1	△40,100	△53.0
12 積 立 金	197,438	0.3	271,238	0.5	△73,800	△27.2
13 繰 出 金	5,519,669	9.1	5,428,282	9.7	91,387	1.7
歳 出 合 計	60,921,484	100.0	56,139,097	100.0	4,782,387	8.5

エ 一般会計決算の市民１人当たりの額
(令和８年３月３１日現在人口 １１６,８４９人)

歳 入			歳 出		
区 分	決 算 額	市民１人 当たりの額	区 分	決 算 額	市民１人 当たりの額
市 税	千円 17,729,773	円 151,732	消 費 的 経 費	千円 41,736,895	円 357,187
地 方 譲 与 税	368,264	3,152	人 件 費	11,109,118	95,073
利子割交付金	30,739	263	物 件 費	8,370,271	71,633
配当割交付金	182,371	1,561	維持補修費	302,622	2,590
株 式 等 譲 渡 所得割交付金	287,072	2,457	扶 助 費	14,636,990	125,264
法人事業税交付金	408,439	3,495	補 助 費 等	7,317,894	62,627
地 方 消 費 税 交 付 金	3,429,835	29,353	投 資 的 経 費	7,858,746	67,255
ゴルフ場利用税 交 付 金	13,014	111	普 通 建 設 事 業 費	7,834,622	67,049
自 動 車 取 得 税 交 付 金	0	0	災 害 復 旧 事 業 費	24,124	206
環 境 性 能 割 交 付 金	54,719	468	失 業 対 策 事 業 費	0	0
国有提供施設 等所在市町村 助 成 交 付 金	86,257	738	そ の 他 の 経 費	11,325,843	96,927
地方特例交付金	118,255	1,012	貸 付 金	0	0
地 方 交 付 税	12,669,343	108,425	公 債 費	5,573,136	47,695
交通安全対策 特 別 交 付 金	8,979	77	投 資 及 び 出 資 金	35,600	305
分 担 金 及 び 負 担 金	641,645	5,491	積 立 金	197,438	1,690
使 用 料 及 び 手 数 料	321,143	2,748	繰 出 金	5,519,669	47,237
国 庫 支 出 金	12,074,019	103,330			
県 支 出 金	4,530,317	38,771			
財 産 収 入	117,026	1,002			
寄 附 金	660,613	5,654			
繰 入 金	1,835,598	15,709			
繰 越 金	231,986	1,985			
諸 収 入	1,237,751	10,593			
市 債	4,351,900	37,244			
歳 入 合 計	61,389,058	525,371	歳 出 合 計	60,921,484	521,369

5 基金の決算状況

一般会計における基金の状況は、次のとおりであった。

種 類	前年度末 現 在 高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現 在 高
財 政 調 整 基 金	千円 9,308,897	千円 △ 280,330	千円 9,028,567
減 債 基 金	1,397,276	△ 310,198	1,087,078
ふ る さ と 創 生 基 金	654,165	△ 76,284	577,881
国 際 交 流 基 金	60,000	0	60,000
庁 舎 整 備 基 金	10,733	45	10,778
職 員 退 職 手 当 基 金	449,988	1,868	451,856
月 僱 金 復 興 社 会 事 業 基 金	7,995	22	8,017
地 域 福 祉 基 金	131,537	△ 25,855	105,682
災 害 援 護 基 金	108,746	451	109,197
中 山 間 ふ る さ と ・ 水 と 土 保 全 対 策 基 金	48,256	200	48,456
河 川 環 境 基 金	10,347	42	10,389
育 英 基 金	114,673	△ 2,302	112,371
文 化 振 興 基 金	131,473	△ 49,843	81,630
地 域 振 興 基 金	727,700	△ 604,279	123,421
景 観 形 成 基 金	412,694	△ 4,606	408,088
森 林 づ く り 基 金	0	0	0
森 林 環 境 譲 与 税 基 金	42,304	131	42,435
民 俗 伝 統 行 事 継 承 基 金	270,702	△ 69,325	201,377
や す ら ぎ 公 園 墓 地 基 金	0	6,314	6,314
計	13,887,486	△ 1,413,949	12,473,537

広 報 広 聴 課

○ 広報いせ発行事業（款）２.総務費（項）１.総務管理費（目）５.広報広聴費

「広報いせ」を毎月１日と１５日（１月・５月は合併号として１日のみ）に発行し、市の方針や事業計画・各種制度の概要、行事予定、市民活動情報、伊勢病院の先生のコラムなどを広く市民に広報し、正しい理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。

また、「広報いせ」への広告掲載を実施し、財源の確保に努めた。

（広告掲載件数：２１６件、収入金額：３,０５０,０００円）

発行号	頁数	発行部数	主 な 記 事
４月１５日号	頁 １２	部 ５４,５３０	伊勢うどんが文化庁の１００年フードに認定されました ほか
５月 １日号	３６	５４,４９０	特集「令和７年度 施政方針と当初予算」 ほか
６月 １日号	３２	５４,５００	特集「気候変動対策 暑い夏と災害に備える」 ほか
６月１５日号	１２	５４,５３０	生活を豊かに！便利で暮らしやすいまちを実現する スマートシティ伊勢を目指して！ ほか
７月 １日号	３２	５４,５１０	特集「始まり 御樋代木奉迎奉曳」 ほか
７月１５日号	１６	５４,４８０	市の魅力を再発見！！市内博物館施設に無料で入館！！ ほか
８月 １日号	２８	５４,４８０	特集「戦後８０年 未来に向けて、平和を願う」 ほか
８月１５日号	１２	５４,４６０	伊勢市制施行２０周年記念第７３回伊勢神宮奉納全国花火大会 受賞者一覧 ほか
９月 １日号	３２	５４,４８０	特集「認知症 自分らしく生きる。それを支える仲間がいる。」 ほか
９月１５日号	１２	５４,５００	サンアリーナにあつまれ！！ ほか

10月 1日号	頁 32	部 54,500	特集「つなぎ続けてきた 伊勢の誇りと伝統」 ほか
10月15日号	12	54,450	あなたの声がまちをつくる 伊勢市長・伊勢市議会議員選挙 ほか
11月 1日号	32	54,470	特集「伊勢市制施行20周年記念特集 伊勢市の20年のあゆみ」 ほか
11月15日号	8	54,420	野口みずき杯 2025 中日三重 お伊勢さんマラソン ほか
12月 1日号	32	54,420	特集「食べられる天然記念物 蓮台寺柿 」 ほか
12月15日号	12	54,420	伊勢市制施行20周年記念式典 ほか
1月 1日号	32	54,420	特集『見える言葉 「手話」で心をつなぐ。』皇學館大学CLL「広報いせ」特集記事制作プロジェクト ほか
2月 1日号	36	54,420	伊勢志摩定住自立圏域8市町合同特集「大学生が選んだコレ、イイじゃん！ 伊勢志摩にお出かけしよう！」皇學館大学CLL「広報いせ」特集記事制作プロジェクト ほか
2月15日号	8	54,440	いせっ子朝食メニューコンクール 入賞作品を紹介します！ ほか
3月 1日号	28	54,440	特集「いよいよ始まる お木曳行事」 ほか
3月15日号	12	54,440	伊勢の春はみどころ満載！！ 旧豊宮崎文庫とオヤネザクラ ほか
4月 1日号	28	54,440	特集「まちづくり協議会 自分たちのまちは、自分たちでつくる。」 ほか

○ C A T V 広報いせ放送事業（款） 2.総務費（項） 1.総務管理費
（目） 5.広報広聴費

行政情報番組［お知らせ番組（毎月2回更新）と特集番組（年間6本）］を制作し、市政に関するお知らせなどを放送した。

<特集番組（年間6本）>

放送回数1日8回（午前6時・8時・11時・午後1時・4時・6時・9時・11時）

月	タイトル	内 容
4	令和7年度の主な事業の紹介	令和7年度の事業についての案内
6	食品ロス削減大作戦	「食品ロス」について楽しく紹介
8	伊勢の歴史探訪～伊勢市と戦争～	伊勢市の知っているようで知らない、戦争の影響を市内に残る様々な痕跡から紹介
11	いせファミリー・サポート・センター会員募集	いせファミリー・サポート・センターの制度と実際のサポーターさんの様子を紹介
1	特殊詐欺とSNS型投資・ロマンス詐欺にご注意を！	特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の手口とその対策について紹介
2	伊勢の歴史探訪～郷土の至宝～	「 しんとちょうかん 神都鳥瞰図」に注目し、秘められた歴史・文化について紹介

<お知らせ番組（毎月2回更新）>

放送回数1日8回（午前7時・9時・正午・午後2時・5時・7時・10時・翌日午前0時）

月	内 容
4	狂犬病予防注射、春の全国交通安全運動 など
5	軽自動車税の納付、伊勢神宮奉納全国花火大会観覧席販売 など
6	こども医療費対象年齢拡大、お伊勢さんマラソンエントリー募集 など
7	がん検診、福祉医療費受給資格証の更新 など
8	予防接種のお知らせ など
9	「中学生ピースメッセンジャー」広島平和事業参加者報告、ごみ減量の啓発 など
10	第68回伊勢市民芸能祭、伊勢病院ふれあい祭り など
11	お伊勢さんマラソン開催案内、住民税試算システム など
12	年末の交通安全県民運動、MOTTAINAIポスターコンクール入賞作品紹介 など

1	不妊不育治療費助成・特定不妊治療医療費助成、まちづくり協議会案内 など
2	美し国三重市町対抗駅伝伊勢市選手団紹介、人権映画祭上映作品紹介 など
3	市税の口座振替、横輪桜まつり など

○ インターネット情報発信事業（款） 2.総務費（項） 1.総務管理費 （目） 5.広報広聴費

<伊勢市ホームページ>

各所属からの情報を掲載するとともに、ウェブアクセシビリティに準拠したホームページになるよう努めた。

- ・公開ページ数：6,555件（令和8年3月31日時点）
- ・閲覧開始数（セッション数）：3,624,031件（令和7年4月1日～令和8年3月31日）
- ・広告件数：36件・360,000円

<広報いせFacebook・X・Instagram>

即時性の高い市政情報などを効果的に発信する媒体として、平成29年1月から「広報いせFacebook」・「広報いせX」、令和7年5月から「広報いせInstagram」を運用している。

（令和7年4月1日～令和8年3月31日期间中の投稿・閲覧状況・フォロワー数など）

- ・広報いせFacebook：投稿数（302件）、閲覧数（175,799件）、フォロワー数（1,938人）
- ・広報いせX：投稿数（302件）、閲覧数（159,406件）、フォロワー数（2,667人）
- ・広報いせInstagram：投稿数（160件）、閲覧数（20,921件）、フォロワー数（75人）

※Xの閲覧数について、仕様変更により令和8年1月から取得が不可となったため、令和7年4月1日～令和7年12月31日までの数値となる。

<YouTube伊勢市役所チャンネル>

市政情報などを映像媒体で効果的に発信するため、平成23年7月にチャンネルを開設し、運用している。

（令和7年4月1日～令和8年3月31日期间中の投稿・視聴状況・登録者数など）

投稿数（35件）、視聴回数（300,758回）、登録者数（5,325人）

○ 市民相談の実施（款） 2.総務費（項） 1.総務管理費（目） 5.広報広聴費

市役所内相談室において、法律・行政・人権・登記・交通事故・公証の無料の市民相談を実施し、相談事の解決に努めた。

また、二見総合支所、小俣総合支所において行政相談を実施した。

相談名	実 施 日	相 談 担 当 者
法 律	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 午後1時30分～3時30分（先着8人）	弁護士
行 政	奇数月第2火曜日 午後1時～ （二見総合支所） 毎月第3火曜日 午後1時～ （広報広聴課相談室） 偶数月第4火曜日 午後1時～ （小俣総合支所）	行政相談委員
人 権	毎月第2木曜日、午後1時～	人権擁護委員
登 記	毎月第2火曜日 午後1時～（先着6人）	県司法書士会伊勢支部会員
交通事故	毎月第3水曜日 午後1時～（先着4人）	三重弁護士会弁護士
公 証	偶数月第1木曜日 午後1時30分～（先着2人）	公証人

区分 項目	法律相談	行政相談	人権相談	登記相談	交通事故 相談	公証相談	計
登 記	件 21	件 0	件 0	件 40	件 0	件 0	件 61
家 庭	67	0	0	0	0	0	67
相 続	119	0	0	25	0	1	145
金 銭	92	0	0	6	0	1	99
土 地	62	0	0	9	0	0	71
福 祉	5	0	0	0	0	0	5
交通事故	8	0	0	0	7	0	15
そ の 他	98	7	0	1	0	0	106
計	472	7	0	81	7	2	569

○ 報道機関への情報提供

8月を除いた各月に市長定例記者会見を開催したとともに、各課から随時の資料提供により市の施策や事業、イベントなどの情報発信を報道機関（伊勢記者会）に対して、積極的に行い、広報活動の充実に努めた。

○ 市政への提案箱システム

開かれた市政を推進し、市民と行政の協働関係を築くため、市政への提案箱システムを活用し、ホームページからの投稿及び紙での提案箱投稿の意見を集約・分類した。

（市政への提案箱設置場所）

本庁舎、各総合支所、各支所、いせトピア、健康課（MiraiSE 5 階）

	投稿数	受 付 方 法	
		紙投稿	Web投稿
令和7年度	318 件	107 件	211 件
令和6年度	286	155	131
令和5年度	198	106	92

文 化 政 策 課

○ 文化振興関係 （款）11. 教育費（項）5. 社会教育費（目）3. 文化振興費

Ⅰ 文化振興事業

（1）2025 ISE COLLECTION（いせ・これくしょん）の開催

市民が文化芸術に親しむとともに、日頃の文化芸術活動の成果を発表する場として、“鑑賞・体験・披露”をキーワードに年間を通じて様々なイベント等を開催している。また、ISE COLLECTIONを通して、複数のイベントを一体的に情報発信し、より効果的に文化芸術の振興を図っている。

ア 伊勢市芸術祭

①市民芸能祭の開催

文化芸術（舞台芸能）の振興を図るため、第68回伊勢市民芸能祭を次のとおり開催した。

なお、開催業務は、伊勢市文化協会へ委託している。

部 門	開 催 日	開 催 場 所	出演団体数	出演者数	観覧者数
邦楽	7.10. 5	伊勢市生涯学習センター いせトピア	団体 10	人 120	人 331
吟詠剣詩舞	7.10.19		6	77	192
能楽	7.10.26		2	32	169
器楽 合唱	7.11. 3	シンフォニアテクノロジー 響ホール伊勢（観光文化会館）	11 13	260 243	754 425
洋舞② 舞台芸能	7.11. 9	伊勢市生涯学習センター いせトピア	8 3	181 42	463
洋舞①	7.11.16	シンフォニアテクノロジー 響ホール伊勢（観光文化会館）	13	262	669
邦舞	7.11.23		11	121	350
計	—	—	77	1,338	3,353

②カルチャーフェスティバルの開催

伊勢市文化協会との共催による体験講座を開催し、気軽に文化芸術を楽しめる機会を提供した。

- ・開催期間 令和7年7月5日～8月28日
- ・講座内容 合唱、箏、バレエ等
- ・会 場 伊勢市生涯学習センターいせトピア、尾崎弴堂記念館、賓日館
- ・参加者数 12講座 135人

③民謡踊り大会の開催

伊勢市文化協会との共催による民謡踊り大会を開催し、伊勢音頭や民踊を楽しめる機会

を提供した。

- ・ 日 時 令和7年8月29日（金）午後7時～午後9時
- ・ 会 場 伊勢市生涯学習センターいせトピア 多目的ホール
- ・ 参加者数 約130人

④市民交流茶会の開催

普段、茶道になじみのない人にも気軽にお茶会を楽しんでいただくことを目的とした、「市民交流茶会」を伊勢茶道協会との共催により開催した。

- ・ 日 時 令和7年12月14日（日）午前9時30分～午後2時
- ・ 会 場 山田奉行所記念館
- ・ 参加者数 110人

⑤伊勢市美術展覧会の開催

伊勢市及び近隣市町の文化芸術（美術分野）の振興を図るため、第71回伊勢市美術展覧会をシンフォニアテクノロジー響ホール伊勢（伊勢市観光文化会館）で開催した。

なお、美術展覧会の開催業務は、観光文化会館の指定管理者へ委託している。

- ・ 部 門 6部門 絵画、書、写真、彫刻、工芸、グラフィックデザイン
- ・ 開 催 日 令和7年10月21日～10月26日（6日間）
午前9時～午後5時

※10月24日は午後7時、最終日は午後3時30分まで

- ・ 出品点数 251点
- ・ 表 彰 市長賞、市議会議長賞、教育長賞、神宮司庁賞、岡田文化財団賞、
ケイミックスパブリックビジネス賞、奨励賞を贈呈した。
- ・ 観覧者数 2,334人
- ・ 運営委員会

（ア）概 要

	開催日	協議内容等
第1回運営委員会	7. 5. 16	・ 第71回伊勢市美術展覧会開催要項（案）及び募集要項（案）について ・ 審査委員の選定方法について ・ 広報活動について ・ 同時開催展示について ほか
第2回運営委員会	8. 1. 8	・ 第71回伊勢市美術展覧会の開催結果等の報告 ・ 第72回伊勢市美術展覧会の開催について ほか

（イ）委員数 9人（任期2年）

- ・ 同時開催展示 伊勢市美術展覧会の開催に合わせて同館ホワイエで「伊勢市歴史博物館開館プレ展示 受け継がれる美術」と「三重県障がい者芸術文化祭受賞作品展 文化で交流しよう 芸術で友達になろう」を開催した。

イ 次世代のための文化芸術推進事業

①文化芸術体験講座の開催

子どもたちに芸術・文化活動の楽しさや素晴らしさを知る機会を提供することで、豊かな心と感性を育み、次世代に文化を継承するための体験講座を開催した。この講座は、市内の文化団体が各小中学校へ出向く、出前講座方式で行っている。

- ・開催期間 令和7年9月17日～令和8年3月9日
- ・講座内容 箏、尺八、ヒップホップダンス、フラダンス、バレエ、いけばな、合唱、茶道、書道、土器、オイリュトミーダンス、リトミック
- ・参加者数 18校 111講座 2,862人

②世界に発信！伊勢市短詩型文学祭の開催

日本の伝統的な文芸の形式である短歌・俳句を用い表現することで、未来を担う子供たちが日本の伝統的な短詩型文学に触れ、同時に市の魅力を世界に発信することを目的に、小・中学生を対象に短歌・俳句の作品募集を行い、表彰及び展示を行った。

また、最優秀作品については、海外からの観光客に伊勢の観光スポットなどを知ってもらえるように英訳したポスターを作成し、公共施設等に掲示するとともに、市ホームページ及び課SNS等で情報発信を行った。

- ・募集期間 web受付分 令和7年7月1日～9月1日
学校提出分 令和7年7月1日～9月5日
- ・応募作品 1,854点（短歌 372点、俳句 1,482点）
- ・応募者数 1,089人（小学生 826人、中学生 263人）
- ・表彰式 令和7年11月29日 伊勢図書館
- ・作品展示

展示場所	展示期間
伊勢図書館 2階ロビー	7.11.29～ 7.12.25
ミタス伊勢 中央通路	8. 2.18～ 8. 3. 4

③「楽しくいせの文化と歴史を学ぼう！」（夏休み博物館イベント）の実施

子どもたちが博物館を訪れ、地域の文化や歴史を学ぶ機会として、文化施設の指定管理者等と連携した事業を次のとおり実施した。

実施施設	開催日	実施内容	参加者数
賓日館	7. 7.19～ 7. 8.31	夏休み子どもチャレンジクイズ	人 172
伊勢古市参宮街道資料館	7. 7.26	前期企画展「いにしへの伊勢」 展示解説	1
山田奉行所記念館	7. 8. 1～ 7. 8.20	鉄道模型展	582

	7. 8. 3	キッズフェア 「お木曳を支えた山田奉行所」	人 12
	7. 8.20	こども茶会	25
尾崎号堂記念館	7. 8. 2	子ども号堂講座 「号堂 この人を知ろう」	7
伊勢河崎商人館	7. 8.18	昔の道具を見て、触れて、使ってみよう	7
特別企画 ふるさと学習※	7. 8. 6	「せんぐう館見学」～お木曳・遷宮から伊勢の文化を学ぶ～	8

※観光振興課、文化政策課、学校教育課協働実施

④「伊勢ぶんか学習帳」の作成

子どもたちが伊勢の歴史・文化・伝統を親しみやすく学ぶための啓発物品として、ショウワノート株式会社とコラボレーションし、市オリジナルの「伊勢ぶんか学習帳」を作成した。

【表紙・表紙見返し・百科ページ】

表紙は伊勢の「お木曳」行事の陸曳の写真を掲載し、表紙見返し・百科ページは伊勢の「お木曳」行事の概要や歴史、お木曳車・櫓（そり）を紹介

【裏表紙・裏表紙見返し・百科ページ】

裏表紙は伊勢の「お木曳」行事の川曳の写真を掲載し、裏表紙見返し・百科ページは木遣りの道具や上せ車等を紹介

- ・数 量 30,000部作成（B5版）5mm方眼ノート
- ・配布時期 令和7年12月より配布
- ・配布先 伊勢市内小中学校、奉曳団ほか文化イベント等で配布

⑤伊勢市転入者に対する市内博物館施設無料入館取組の実施

本市へ転入された方に対して、賓日館、伊勢河崎商人館、尾崎号堂記念館へ無料で入館できるチケットを配布した。また、伊勢市LINE公式アカウントを活用したデジタルクーポンの利用も行っている。

⑥伊勢市民に対する市内博物館施設無料入館取組の実施

市民（本市に住所を有しかつ居住する者）を対象に、本市の魅力を再発見してもらうことを目的として、賓日館、伊勢河崎商人館、尾崎号堂記念館の入館料を無料とする取組を以下のとおり実施した。

- ・期 間 令和7年7月19日～8月31日
- ・利用方法 令和7年広報いせ7月15日号に掲載した記事を対象者が上記施設の受付で提示、または伊勢市LINE公式アカウントを活用したデジタルクーポンを受付で提示する。

ウ 文化公演事業

①芸協らくご・伊勢おかげ寄席の開催

平成31年1月21日に（公社）落語芸術協会と締結した「伊勢市における文化芸術鑑賞機会の拡大に関する協定書」に基づき寄席公演を開催した。

- ・開催日時 令和7年11月19日、20日
開演 午後6時30分 終演 午後8時45分
- ・出演者 春風亭昇太さん、桂宮治さん、春風亭柳橋さん ほか
- ・開催場所 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール
- ・観覧者数 592人（内訳：11月19日313人、11月20日279人）
- ・観覧料 前売2,700円 当日3,000円 高校生以下（前売・当日共）500円
2日間通し券5,000円

②学校らくごの開催

今後の伊勢市を担う児童に伝統文化に興味を持ってもらうきっかけ作りを目的に、市内小中学校に希望を募り落語講座を実施した。

- ・開催日時 令和7年11月20日 午前10時30分～11時40分（豊浜西小学校）
午後1時35分～2時45分（小俣中学校）
- ・講師 雷門音助さん
- ・講座内容 落語における仕草表現の体験を交えて、伝統芸能である落語を楽しく鑑賞するためのプログラム。

エ 連携事業

①市民ふれあいスポカルウォークの開催

スポーツと文化（カルチャー）を合わせたウォーキングを開催し、地域に残る文化資産等を巡った。この事業は、スポーツ課と連携して実施している。

開催日	内容		参加者数
7. 4. 27	第1回	二見町コース「五十鈴川派川に沿って」 （昼河古墳群、栄野神社、太江寺）	人 126
7. 6. 1	第2回	円座町コース「かんこ踊りの里」 （米山新田、姫路城模型、円座のかんこ踊り）	117
7. 9. 21	第3回	小俣町コース「大仏山ぐるっとひと廻り」 （大仏山、八端古窯址、伊勢街道）	111
7. 11. 16	第4回	有滝町コース「潮の香りと漁港」 （山田奉行所跡、高ノ御前遺跡、有滝漁港）	110
8. 3. 8	第5回	御園町コース「新開臥竜梅公園」 （新開臥竜梅公園、御園神社、上條・小林のかんこ踊り）	103

（2）アクティブ・アート推進事業

観光誘客課が令和2年度から令和4年度に実施した「クリエイターズ・ワーケーション促

進事業」の参加クリエイター等と連携し、作品の展示やワークショップ等を開催した。

ア マームとジプシー「しずく なみだ」作品展示

- ・内 容 高柳夜店で空き店舗を活用して、劇団マームとジプシーによる「しずく」「かがみ」「まど」「なみだ」をテーマにした物語とイラスト作品展示を行った。

- ・開催期間 【作品展示】令和7年6月1日～28日

- ・場 所 旧しばやまふとん店（伊勢市曾禰1丁目11-7）

イ マームとジプシー「めにみえない みみにしたい」公演およびワークショップ

- ・開催日時 【ワークショップ】令和7年7月29日 13:30～15:30

【公 演】令和7年7月30日 ※津波警報発表により中止

第1部 開演 午前11時30分 第2部 開演 午後3時00分

- ・場 所 【ワークショップ】シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 展示室

【公 演】シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 大ホール

- ・参加者数 【ワークショップ】17人（20人定員）

（申込数）【公 演】第1部45名 第2部43名（各45名定員） ※中止

（3）全市博物館構想事業

平成20年に策定した「伊勢市全市博物館構想」は、市域を屋根のない巨大な博物館と捉えて博物館や文化資産を収蔵品とみなし、一体のものとして有効活用を図ることを目的としている。

- ・伊勢まると博物館マップの作成・配布等

博物館を紹介するとともに、点在する文化資産を記したマップを作成し、各博物館や観光案内所等で配布した。「博物館スタンプラリー」を実施し、3か所以上の施設を巡った人には記念品を贈呈した。また、令和6年7月20日より伊勢市LINE公式アカウントを活用したデジタルスタンプラリーも開始した。

- ・情報発信

博物館13館の企画展示や催し物情報、臨時休館日や季節に応じた見どころ等を月単位でまとめ、「今月の伊勢まると博物館」として市ホームページで紹介した。

（4）「伊勢ぶんかネット」の配信

伊勢市を拠点に活動する文化団体をサポートするため、国や県等の公的機関による助成事業や登録団体が主催するイベント等の情報をEメールやファックス、伊勢市LINE公式アカウント等を利用して、毎月1回配信した。また、市の後援事業等の情報を市ホームページにより周知した。

- ・登録団体数 137団体（令和8年3月31日時点）

- ・配信回数 16回（令和8年3月31日時点）

(5) 市制 20 周年記念事業

ア ふるさと学習

伊勢市制施行20周年を契機として、次の世代に継承していくことを目的に、遷宮やお木曳行事について学ぶ出前講座やせんぐう館見学を行った。

- ・ふるさと学習講座 市内小学校12校 19講座 476人
- ・せんぐう館見学 市内小学校6校 7回 189人
- ・夏休み博物館イベントでのせんぐう館見学（再掲）

イ 公開テレビ収録「出張！なんでも鑑定団 in 伊勢」の開催

テレビ東京系列の人気番組「開運！なんでも鑑定団」の出張版、「出張！なんでも鑑定団 in 伊勢」を開催し、「お宝」や観覧希望者の募集などを行った。

- ・開催日時 令和8年2月15日（日）13：00 開演
- ・場所 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 大ホール
- ・来場者数 1,094人

ウ コンサート「伊勢の第九～神々も歓喜する～」の開催

伊勢市民をはじめとする合唱団100人と大阪交響楽団らによるベートーヴェンの「第九」コンサートを開催した。第1部では、岡本町奉曳団による木遣り披露や伊勢本町春木太鼓の演奏も行われた。

- ・開催日時 令和8年1月25日（日）14：00 開演
- ・場所 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 大ホール
- ・来場者数 908人

2 全国大会等参加激励事業

文化芸術分野の全国規模以上の大会に出場する者に激励金を交付した。

大 会 名	交付人数	交付金額
第43回全日本珠算技能競技大会	人 1	円 10,000
第38回アマチュア竜王戦全国大会	1	10,000
大山名人杯争奪 第24回全国小学生倉敷王将戦	1	10,000
第49回全国高等学校総合文化祭（囲碁部門）	2	20,000
第49回全国高等学校総合文化祭（写真部門）	1	10,000
第49回全国高等学校総合文化祭（文芸部門）	1	10,000
第49回全国高等学校総合文化祭（囲碁部門）	1	10,000
第49回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会全国大会	2	20,000
第46回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会	1	10,000
第72回全国高等学校ビジネス計算競技大会	2	20,000
第79回全日本アマチュア将棋名人戦	1	10,000
第5回チャレンジコーヒーバリスタ	4	40,000
計	18	180,000

3 文化財保護事業

(1) 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金

伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、保存継承団体が行う後継者育成事業、備品整備事業、記録作成事業、普及宣伝事業、保存維持事業に対して補助を行った。令和7年度は24団体中15団体に補助金を交付した。

(2) 文化財保護審議会

文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議する機関として設置している。令和7年度は審議会の開催はなかった。

〔委員数〕9人（任期：令和6年10月1日～令和8年9月30日）

(3) 文化財の指定等

市にとって重要な文化財を指定し、将来の文化的発展の基礎をなすものとして保護する。令和7年度は新規指定等の該当はなかった。

(4) 文化財保存整備事業

指定文化財等の適正な保存管理を図るため、下記事業に対して補助金を交付した。

ア 国史跡離宮院跡環境整備事業

- ・ 名称 離宮院跡
- ・ 種別 国指定史跡
- ・ 所在地 小俣町本町
- ・ 所有者（補助事業者） 官舎神社氏子総代会
- ・ 実施期間 令和7年5月15日～令和7年11月8日
- ・ 事業内容 残存する土塁など遺跡のある環境を整備した。
- ・ 事業費 341,536円（市補助155,000円、所有者186,536円）

イ 弥栄の松 病害対策事業

- ・ 名称 弥栄の松
- ・ 種別 市指定天然記念物
- ・ 所在地 大湊町1062-6
- ・ 所有者（補助事業者） 日保見山八幡宮
- ・ 実施期間 令和7年7月7日～令和8年3月31日
- ・ 事業内容 「すす葉枯病」の治療のため、殺菌剤散布により樹勢回復を図った。
- ・ 事業費 176,000円（市補助87,000円、所有者89,000円）

(5) 二見浦保存活用事業

ア 保存管理

平成18年7月28日に国名勝に指定された「二見浦」について、平成21年度に策定した保存管理計画に基づき、適切な保存管理を行うものである。

令和7年度は、保存管理計画運営委員会の開催はなかった。

〔委員数〕5人（任期：令和6年10月1日～令和8年9月30日）

イ 保存活用計画の作成

名勝二見浦の保存・活用の方向性や方法を検討するため、保存活用計画の作成を行った。計画作成にあたっては、学識経験者で構成した保存活用計画策定委員会による調査審議を行った。

- ・実施期間 令和7年4月1日～令和8年3月24日
- ・事業費 3,736,381円(国補助1,607,000円、県補助224,000円、市1,905,381円)
- ・事業内容 保存活用計画の作成、保存計画策定委員会及び庭園部会の開催(計4回)
- ・委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内	(注) 国名勝二見浦 保存活用計画 策定業務委託	保存活用計画作成、 委員会の運営支援等	円 3,443,000 【契約額】 7,029,000 [令和6年度] 3,586,000 [令和7年度] 3,443,000	6. 8.20	8. 3.24

(注)債務負担行為

(6) 旧豊宮崎文庫整備活用事業

大正12年3月7日に国史跡に指定された「旧豊宮崎文庫」について、桜の時期に合わせ令和8年3月21日から4月8日に一般公開をし、2,493人が来場した。

ア 普及関係

旧豊宮崎文庫と市天然記念物オヤネザクラの概要と文化財保護の大切さを知ってもらうために史跡見学会を開催した。

開催日	講 師	開 催 場 所	開 催 時 間	参加者数
8. 3.28	樹木医 中村昌幸 氏	旧豊宮崎文庫	10:00 ~ 12:00	人 52

(7) 文化財案内板設置事業

市内の指定文化財や史跡等を周知するため、文化財案内板を設置している。令和7年度は、外国人観光客に対応するため、既設案内板1件の解説文を英訳し、読み取り二次元バーコードステッカーを貼付した。

(8) 賓日館保存事業

賓日館は市が所管する文化財(国の重要文化財)であり、適切に保存していくための取組を行った。

ア 保存修理工事実施設計作成

令和6年度に作成した重要文化財旧賓日館保存活用計画を基に、旧賓日館保存修理工事実施設計業務を行っている。旧賓日館の保存修理に向け、学識経験者で構成した旧賓日館保存整備委員会による審議を行った。

・実施期間 令和7年7月29日～令和8年3月31日

(全体の実施期間は令和7年7月29日から令和8年9月30日まで)

・事業費 25,549,000円(国補助12,774,000円、県補助1,788,000円、市10,987,000円)

・事業内容 保存修理工事実施設計、旧賓日館保存整備委員会の開催(1回開催)

・委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町茶屋 地内	旧賓日館アスベスト含有調査業務委託	アスベスト含有調査一式	円 1,408,000	7.7.9	7.9.30
//	(注) 旧賓日館保存修理工事実施設計業務委託	保存修理工事及び耐震補強工事の実 施設計一式	23,280,400 【契約額】 27,926,800 [令和7年度] 23,280,400 [令和8年度] 4,646,400	7.7.29	8.9.30
//	旧賓日館発掘調査実測業務委託	発掘調査実測業務一式	440,000	7.8.21	7.11.28

(注) 債務負担行為

イ 工事関係

耐震補強に伴う事前調査のための基礎確認の発掘土木工事を施行した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町茶屋 地内	旧賓日館発掘調査に伴う土木工事	基礎構造確認及び調査坑の掘削工事	円 737,000	7.8.27	7.11.28

(9) 伊勢うどん魅力発信事業

伊勢うどんを地域の貴重な文化資源として再認識し、市内外の関心を高めて、さらなる振興と継承につなげることを目的とした取組を行った。

令和7年度は、伊勢の文化財通信紙「Isend」にて文化庁の100年フードに認定されたことを掲載し、周知を図った。また、100年フードのロゴマークの使用について案内をして、3社から使用申請があった。

4 郷土資料収蔵施設管理運営事業

市が所蔵する歴史的資料等は、松下倉庫と旧沼木中学校校舎を収蔵施設としており、より良い資料保存環境づくりに努めている。また、外部への郷土資料の貸出しも行っている。

虫侵入の対策や、遮光カーテンへ変更をし、貴重な資料の保管環境を改善した。

5 郷土資料館整備事業

当市の歴史文化に関する理解を深め、広く情報発信するための博物館(郷土資料館)を整備した。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
岩 淵 1 丁 目 地 内	(仮称) 伊勢市郷 土資料館展示製作 業務委託	展示ケース・映 像音響コンテン ツ・模型等の製 作・設置	円 632,225,000	7. 7. 2	8. 3.27
伊勢市役所 本庁舎及び 受注者の事 業所	伊勢市歴史博物館 ホームページ制作 業務委託	ホームページ制 作一式	1,012,000	7.12.24	8. 3.31
岩 淵 1 丁 目 地 内	(注) いせ市民活動セン ターほかWi-Fi環境 整備業務委託	Wi-Fi環境整備 業務一式	650,100 【契約額】 1,516,900 [市民交流課] 866,800 [文化政策課] 650,100	8. 2. 9	8. 3.23

(注) 市民交流課施行

その他 オヤネザクラアクリル標本制作業務委託他6件 2,306,900円

(2) エ事関係

施行場所	エ 事 名	エ 事 概 要	金 額	着 工	完 工
本 町 地 内	(注) 伊勢市歴史博物館等誘 導サイン設置工事	標識工 1基	円 3,670,700	7.11.11	8. 3.19
岩 淵 1 丁 目 地 内	伊勢市歴史博物館防犯 カメラ設置工事	防犯カメラ設置一式	1,815,000	8. 2.26	8. 3.19

(注) 都市計画課施行

6 古市資料館管理運営事業

古市参宮街道ゆかりの資料(妓楼・古市歌舞伎・岩城万金丹・画僧月僊関係等)を展示公開して
いる。また、常設展示を補完するとともに、来館者の継続的な確保を図るため、企画展を開催した。

平成18年9月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 伊勢古市参宮街道資料館運営委員会
- ・指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)

(1) 企画展の実施

企 画 展 名	開 催 期 間	入館者数
絵葉書によって振りかえる「いにしへの伊勢」 ～古市かいわい～	7. 7. 8 ～ 7. 8. 3	人 299
錦絵「伊勢音頭恋寝刃」と看板「間の山お杉お玉」展	7.10. 7 ～ 7.11. 3	407

(2) 入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	日 25	27	25	27	27	24	27	26	24	24	23	25	304
入館 者数	人 205	317	223	302	226	213	399	336	205	347	284	410	3,467

(3) 2階研修室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	回 47	43	48	46	45	43	36	44	41	44	46	53	536
利用 者数	人 413	333	414	378	347	406	306	355	315	360	447	533	4,607

7 伊勢河崎商人館管理運営事業

江戸時代に「伊勢の台所」として栄えた河崎の代表的な商家を資料館として活用し、当時の暮らしを支えた商業や生活に関する資料を展示公開している。

なお、施設建造物のうち12件は、平成13年に国の登録有形文化財に登録されている。

平成18年9月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり衆
- ・指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）

(1) 入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	日 25	27	26	25	27	25	27	26	24	24	24	26	306
入館 者数	人 419	493	331	369	496	544	430	599	465	352	541	577	5,616

(2) 貸室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	回 12	4	3	4	7	1	5	14	7	4	2	4	67
利用 者数	人 182	21	10	31	64	3	88	542	109	51	5	103	1,209

(3) 工事関係

施設の安全な運営のため、諸設備の修繕工事等を施行した。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
河崎2丁目 地 内	伊勢河崎商人館ピロティ修繕工事	ピロティ修繕一式	円 1,062,600	7. 6. 2	7. 9. 5

河崎2丁目 地 内	伊勢河崎商人館 壺の蔵 出格子修繕工事	出格子修繕一式	円 987,800	7. 7. 14	7. 8. 25
〃	伊勢河崎商人館内蔵資 料館空調機器取替工事	空調機器取替一式	281,600	7. 7. 22	7. 8. 20
〃	伊勢河崎商人館主屋茶 室空調機器取替工事	空調機器取替一式	462,000	8. 3. 3	8. 3. 18

(4) 伊勢河崎商人館VR博物館の制作

伊勢河崎商人館の歴史的価値を市民や観光客に伝えるため、伊勢河崎商人館のVR空間を制作して3Dパノラマビューを公開した。

・公開開始 令和8年3月24日

【主な実装内容】

- ・建物内観及び外観の360度3Dパノラマビュー
- ・解説等のタグを配置

8 尾崎号堂記念館管理運営事業

我が国の憲政史上に不滅の功績を残し、世界平和の取組に尽力した尾崎号堂に関する資料を展示公開している。また、常設展示を補完するとともに、来館者の継続的な確保を図るため、企画展を開催した。

平成22年4月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 特定非営利活動法人号堂香風
- ・指定期間 令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年間）

(1) 企画展の実施

企 画 展 名	開 催 期 間	入館者数
素顔の号堂－尾崎家のアルバムの中から－	7. 8. 2～ 7. 8. 31	人 293
寄贈品展	8. 3. 1～ 8. 3. 31	176

(2) 入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	日 26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308
入館 者数	人 99	245	29	69	305	376	49	116	24	38	60	176	1,586

(3) 2階会議室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	回 32	47	41	45	32	36	41	38	29	37	31	34	443
利用者数	人 617	1,059	839	856	705	574	680	662	454	544	468	730	8,188

9 山田奉行所記念館管理運営事業

江戸幕府が主要都市に設置した遠国奉行を今に伝える数少ない資料館として、山田奉行所に関する資料を展示公開している。また、常設展示を補完するとともに、来館者の継続的な確保を図るため、企画展を開催した。

平成27年4月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 山田奉行所記念館友の会
- ・指定期間 令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年間）

(1) 企画展の実施

企 画 展 名	開 催 期 間	入館者数
鉄道模型展	7. 8. 1～ 7. 8. 20	人 582
天領小林村と庄屋家	8. 3. 1～ 8. 3. 30	474

(2) 入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	日 25	27	26	25	27	25	27	26	24	24	24	26	306
入館 者数	人 459	262	237	197	807	429	909	374	469	403	503	474	5,523

(3) 貸室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	回 10	6	5	7	9	9	11	8	15	12	8	9	109
利用者数	人 182	31	25	32	178	189	185	60	254	204	177	49	1,566

(4) 工事関係

施設の安全な運営のため、諸設備の修繕工事等を施行した。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
御園町上條 地 内	山田奉行所記念館外塀 塗装工事	外塀塗装一式	円 1,298,000	7. 5. 27	7. 7. 10

御園町上條 地 内	山田奉行所記念館駐車 場入口整備工事	車止めポスト設置工 8か所	円 913,000	7.10.16	8. 1.13
--------------	-----------------------	------------------	--------------	---------	---------

10 観光文化会館管理運営事業

市民の様々な文化活動を支援するための施設として、ホールや会議室等の貸館のほか、質の高い文化芸術の鑑賞機会の提供等の取組を行った。

平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

【指定管理者】

- ・管理者名 株式会社 ケイミックスパブリックビジネス
- ・指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）

（1）自主事業

伊勢市観光文化会館の設置目的を達成するため指定管理者自ら企画実施する自主事業（鑑賞型や参加型の公演事業）を計画した。

区分	主な事業名	実施件数	入場者数
鑑賞型事業	小椋佳「歌紡ぎの会」	9 件	6,075 人
普及型事業	かんぶん感動とどけ隊 小中学校への出前公演 創作舞台『竹取物語』	7	2,383
参加型事業	出張！なんでも鑑定団in伊勢	11	3,697
計		27	12,155

（2）工事関係

会館の安全な運営のため、建物や設備について改修工事等を施行した。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
岩淵1丁目 地 内	（注） 伊勢市観光文化会館防 水改修工事	防水改修一式	円 3,026,100	7.12. 9	8. 2.20
〃	伊勢市観光文化会館プ ラザタイル修繕工事	プラザタイル修繕 一式	1,936,000	7.12.25	8. 1.27
〃	伊勢市観光文化会館受 電設備改修工事	受電設備改修一式	605,000	8. 1.30	8. 3. 3

（注）営繕課施行

（3）ネーミングライツ

新たな財源を確保し、施設の運営及び維持管理等の財源に充てるため、ネーミングライツ制度を導入している。

- ・対象施設 伊勢市観光文化会館
- ・愛 称 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢
- ・命名権者 シンフォニアテクノロジー株式会社
- ・命名権料 年額500万円（税込み）
- ・契約期間 平成29年4月1日～令和19年3月31日（20年間）※

※当初契約は10年間であったが、命名権者より申し出があったため更新を行った。